# 様式編

## <災害警戒・対策編>

### 第1章 活動体制の確保

- F1-03-01 職員動員に関する様式
- F1-04-01 関市の報告等様式
- F1-04-02 県計画様式一覧表
- F1-04-03 市町村行政機能チェックリスト
- F1-06-01 自衛隊の災害派遣要請に関する様式

#### 第2章 二次災害防止及び人的危険回避

F2-01-01 火災・災害等即報要領様式

#### 第3章 応急復旧及び都市機能早期回復

F3-08-01 捜索受付から火葬・埋葬までの各様式

#### 第4章 被災者救援

- F4-01-01 応急医療救護に関する様式
- F4-02-01 炊き出し支援要請に関する様式
- F4-03-01 避難所運営のための様式
- F4-04-01 義援金品領収書の様式
- F4-04-02 調査表及びり災証明書様式
- F4-04-03 岐阜県災害救助法施行細則の規定による様式

(1) 非常参集職員動員状況報告書

課名			参集 ( ) 人/	/ 職員 ( ) 人	R 年	Н Н	AM / PM :	現在
職名	日 名	通勤距離	登庁方法	登庁時刻	退广時間	登庁時の被災状	登庁時の被災状況(負傷等)・登庁できない理由等	理由等
			歩・転・車					
			歩·転·車					
			歩·転·車					
			歩·転·車					
			歩・転・車					
			歩・転・車					
			歩・転・車					
			歩・転・車					
			歩・転・車					
			歩·転·車					
			歩·転·車					
			歩·転·車		••			
			歩·転·車					
			歩·転·車					
			歩·転·車					
			歩·転·車					
			歩·転·車					
			歩·転·車					
			歩・転・車					
			歩・転・車	•				

各出先機関は、各所属班長に「非常参集職員動員状況報告書」をメール送信、又はFAXし、班長が取りまとめて秘書班長に報告してください。 出先機関である班長及び地域事務所長は「非常参集職員動員状況報告書」を災害対策本部(秘書班)にFAX (24-4119) してください。 \* \* \*

当様式は情報ライブラリーに保管しています。

F1-03-01①

					$\geq$		2		$\overrightarrow{<}$
	非常配備			(議 員)	七十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	(議 首)	(4)	(第 首)	<del>恒</del> 〈U
平成()年()月現在	第 3 配 備			(第	(合計 人)	(議 議)	(合計 人)	(第 萬)	(合計 人)
4 江	第 2 配 備			(当 (業)	(合計 人)	(議 員)	(人 特)	(謀 員)	(合計 人)
	第 1 配 備			(当	(合計 人)	(課 員)	(合計 人)	(課 員)	(合計 人)
備人員名簿 ( )部	準備配備			(講 員)	(合計 人)	(当	(人 情合)	(第 員)	(合計 人)
(2) 非常配備体制別配備人員名簿 ( ) 部門 (	単位:人	部		(課名)	課長 ( )	(課名)	離長()	(課名)	課長()

※ 部長欄下の空欄には、権限代行者名を記載する。※ 課員の氏名は、最初の配備体制に記載する。

# (3) 職員参集( 予定 ・ 報告 )表

									(	)部門
					(	) 年 (	)月(	) 日 (	)時(	)分作成
(	) 部	(	/	)	(	)年(	)月(	) 目 (	)時(	)分発生

発災後の時間		)計 (計)		課		課		課		課
30分以内										
		人		人		人		人		人
0.5~1時間	(	)	(	)	(	)	(	)	(	)
1~2時間	(	)	(	)	(	)	(	)	(	)
	(	,	(	,	(	,	(	,	(	,
2~3時間					,	,	,			
	(	)	(	)	(	)	(	)	(	)
3~4時間	(	)	(	)	(	)	(	)	(	)
4~5時間	(	)	(	)	(	)	(	)	(	)
5時間以上	(	)	(	)	(	)	(	)	(	)
時間以上	(	)	(	)	(	)	(	)	(	)

- (注)1. 予定表、報告表のいずれかに○をつける。
  - 2. 部門名、部名は、災害対策本部組織図を参照し記載する。
  - 3. 予定表については、「勤務時間外動員用職員名簿」の「所要時間」欄記載に基づき記入する。
  - 4. 地震以外の災害の場合の発生欄は、参集指令発令時を記載する。
  - 5. ( ) 内には、累計を記入する。

(1) 関市第1号様式 [災害概況速報]

災害概況速報

災害名(第 報)

※ 項目ごとに情報源を明記すること。 (住民通報、防災モニター情報、自主防災組織 通報、その他民間通報、消防・警察官通報、 その他機関通報及び現認)

報告日時		年	月	目	時	分	
市町村	関	市					
所属名				部	(課・	所・事務原	折)
報告者名					(地址	域・地区支部	部)

※ 項目ごとに確認、未確認の別を明記すること。

	災害種別	地震、	水害、 火	災、その	他	発生日時	Ŧ	年 月		月	時	分	
災	(地区ごと	の被害の	有無及び概	況、施設	ごとの被害	の有無及び	バ概況等)						
害													
<b>の</b>	<b>*</b>	町	丁目	番									
概													
況													
							全 壊		棟			<u> </u>	
		死 者	人	不 明	人		(流失)		棟	一音	陇損		棟
	死傷者	重傷者	人			住 家	(1)112/		174	床上	:浸水		 棟
被		軽傷者	人	計	人		半 壊		棟		浸水		棟
	(火災の発			道路•橋	<u>l</u> りょうの状	· 況 雷気・	L ・水道の状況			<i>V</i>   V	12/1		1/1
害		77. 117.			) & J -> V		710	- 177					
115													
状													
況													
亿													
応	(応急措置	量、避難状	况、自主防	災会・住	民の動向、	消防・警察	察官・その他	2関係機関	との	連絡状	犬況)		
急													
対													
策													
<b>の</b>													
状													
況													

# (2) 関市第2号様式[要請情報]

# 要請情報

災害名 第 報)

災害種別	地震、	水害、	火災、	その他	

要請日時	年	月	目	時	分
主管部等名				部	(地域支部)
部長等名					
担当者名			(課)	(地垣	<b>戊·</b> 地区支部)

	種 別	要員の補充、資器材調達、車両調達、燃料調達、広報依頼、自衛隊派遣要請その他( )
		(要請先機関・団体名、職種、品名、広報文などできるかぎり具体的に記入)
要	内容	
<b>≑</b> ±		※ 別紙添付の場合は、その旨を明記のこと。
請		(種別、性別、品名別等に分けて記入)
	数量·	
0)	回数·	
	又は人数	
概		(集合場所、受渡場所、広報活動実施場所などを記入)
150	場所	
		(留意点、携行品など特記事項を記入)
要		(田息点、15月中はと付記事項を記入)
	その他	
	必要事項	
要	(措置の状	況、部内対策要員の状況、部内資器材の状況、その他要請を必要とした状況)
請		
に		
V		
た		
った		
理		
由		

(3) 関市第3号様式[災害対策従事者名簿]

	No.	垂析				
名 簿	部・事務所 (課) 報告者 氏名	従事内容				
幸 幸	所属部課	仮眠時間等				
計 対 策 従	出動日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	従事時間	時分から時 分まで	時 分から時 分まで	時 分から時 分まで	時 分から時 分まで
災 害		職員番号 氏 名				
	災害名	補職名				
	※報告先:各部等長 ※提出先:本部連絡員室	部·課名				
	※ ※ 指 田 田	No.	1	23	33	4

(4) 関市第4号様式[災害対策活動実施状況報告]

	\							
	No.	無						
	(中間) (最終)	茶						
	時 分 現在	0						
	ш	溆						
	Я	<b>⟨</b>						
	争							,
· 牛								,
動美施状況報	報告時刻							1 1
伏 礼	所 友部)	況						:
施:	(課)·事務所 (支部)							1
美	(課)	关						
: 動	始	施						1 3 3 3
策 活	氏名	黑						
								1
災害対	報告者							1
<b>3</b> 35		i類						1
		災害対策の種類						1
		(害対						1
	災害名	33						1
		蒸						4
	: 各部等長 : 本部連絡員室	由						1
	· 谷 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	В						
	※報告先※提出先	月						11.
	* *							

(器) 材、応援の (注1) 日時を追って適時記入し、状況に応じて整理すること。(ただし、時刻表示は、24時制とする。) (注2) 「実施状況欄」には、作業及び被災者に対する措置の内容、活動場所、活動期間、進捗率、延出動人員、延使用資機

状況等を具体的に記入すること。 (注3)「今後の対策欄」には、作業及び措置の内容、活動場所、活動期間、必要となる延人員、必要となる資機(器)材、応援を必要とする 数量を記入すること。

(5) 関市第5号様式[避難状況速報]

	時 分	部(課·事務所)			の見通し等							
		珀			避難先・今後の見通し等							
					避難の理由 湯							
	受信時刻	受信機関	受信者名		ı							
	分現在	部(課・事務所)			設定した 日 時							
	盐	部 (課	(地域・	警戒区	有	有・無	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	有・無	有・無	有・無	在 ・ 無	
	A H			避難勧告又は指示	勧告又は指示 した 日 時							
	_	報告機関	報告者名	避難勧告	本 無	勧告・指示 自主避難	制告・指示 自主避難	勧告・指示 自主避難	勧告・指示 自主避難	勧告・指示 自主避難	勧告・指示 自主避難	
					避 基 人員数							
٦				状祝	避 世帯数							
XF 4/ 1/1 /4 +1X				難の	避難した日田時							
(A) A C O A A A C C B M A C C C B A C C C B A C C C C C C C C C	、状況			赮	町内名							
	避難の状況				居 区 名							

避難所, 教護所収容狀況			名 称 設置場所 開設							
雙所収容狀										
$\overset{\times}{\mathbb{X}}$			開設							
況			日時							
-	報告機関	報告者名	収容可能人数							
H H			現収容人数							
時 分現在	部(課·事務所)	(地域・地区支部)	実施期間							
受信時刻	受信機関	受信者名	活動人員							
<b></b>	#) 		その他参考事							
ř 分	果•事務所)		項							
	月 日 時 分現在 受信時刻 時 	報告機関     期     期     第(課・事務所)     受信機関     期     期     第(課・事務所)	報告機関     部(課・事務所)     受信機関     部(課・事務所)       報告者名     (地域・地区支部)     受信者名	報告機関       部(課・事務所)       受信機関       部(課・事務所)       受信機関       部(課・事務所)         報告者名       (地域・地区支部)       受信者名       会信者名       市         時       収容可能人数       現収容人数       実施期間       活動人員       その他参考事項	報告機関     部(課・事務所)     受信機関     部(課・事務所)       報告者名     (地域・地区支部)     受信者名       時     収容可能人数     現収容人数     実施期間     活動人員     その他参考事項	報告機関     部(課・事務所)     受信機関     部(課・事務所)       報告者名     (地域・地区支部)     受信者名       時     収容可能人数     現収容人数     実施期間     活動人員     その他参考事項	報告機関     高(課・事務所)     受信機関     部(課・事務所)       報告者名     (地域・地区支部)     受信機関     市 部(課・事務所)       時 収容可能人数     実施期間     活動人員     その他参考事項	報告機関     部(課・事務所)     受信機関       報告者名     (地域・地区支部)     受信機関       時     収容可能人数     実施期間     活動人員     その他参考事項	報告機関     部(課・事務所)     受信機関     部(課・事務所)       報告者名     (地域・地区支部)     受信者名       時     収容可能人数     実施期間     活動人員     その他参考事項	報告機関

分現在」は、報告機関が情報を収集した時点とする (注)1 項目のすべてが判明しない場合でも、その一部でも判明したものから順次「第1報」、「第2報」、「第3報」・・・・として報告すること。2 報告件数の多少等に応じ、適宜、地区ごとに別葉とすること。また、「月日時分現在」は、報告機関が情報を収集した時点とっこと。3 ファックス、使送の場合は、適宜、位置図・被害状況図を添付すること。

(7) 関市第7号様式[輸送記録簿]

災害救助の手引 様式 37

簿

绿

淡

讏

1				1	1		
ı_I			析				
丰			<b></b>				
市町村名 関			実支出額(円)				
山			然 (田)				
			破るる				
	筹		修繕費 (円)				
			修繕月日				
	絢	故障車両等	所有者氏名				
		故障	名称番号				
	等		金 額 (田)				
	十 果	用車両等	中、教				
	y.	使用画	種類				
		學法內理	種(四) (田) 羅)				
			目的				
		<b>祖</b>	荆 月 公 日				

(8) 関市第8号様式[物資経理状況]

浴

¥

型

裕

潋

**W** 

भ 2. 各救助の種目別最終行に受高、払高、残高の合計を明らか 時現在 靊 Ш 額 喠 Щ 金 # 残 壨 数 平限 額 喠  $^{\cancel{1}}$ 屾 数 額 咂 金 区 数 受入先又は払出先 (注)1. 「救助の種目別」欄は、次のように区分して、記入すること。 単位 农 ᄪ Ш 町 # 救助の種目別

にすること。なお、物資等において、県よりの受入分及び市調達分がある場合には、それぞれの別に受高、払高、残高の合計を明らかにすること。 ①避難所用 ②炊き出しその他による食品給与用 ③給水用機械器具・燃料及び浄水用薬品・資材 ④被服・寝具等 ⑤医薬品・衛生材料 ⑥被災者救出用機械器具・燃料 ⑦燃料及び消耗品

# F1-04-02 県計画様式一覧表

[県計画(一般対策計画 第3章災害応急対策)様式一覧表]

様式名称等	章節項	様式番号
職員派遣要請書	3 - 2	1号
職員派遣あっせん要請書	(災害対策要員の確保)	2号
災害救助法による従事命令書		3号
災害救助法による従事命令の取消命令書		4号
災害救助法による従事協力命令書		5号
災害救助法による従事命令の変更命令書		6号
災害救助法による従事命令の取消命令書		7号
実費弁償請求書		8号
災害救助法による扶助金支給申請書		9号
災害対策基本法による損害補償費支払請求書		10号
従事者台帳		11号
災害派遣要請依頼書	3 - 4	1号
災害派遣要請書	(自衛隊災害派遣要請)	2号
自衛隊の撤収要請依頼書		3号
自衛隊の撤収要請書		4号
緊急通行車両確認証明書	3-6-1	1号
標章	(道路交通対策)	2号
災害概況即報	3-9	1号
被害状況即報	(災害情報等の収集・伝達)	2号

# [県計画(地震対策計画 第3章地震災害応急対策)様式一覧表]

様 式 名 称 等	章節項	様式番号
災害派遣要請依頼書	3-3	1号
災害派遣要請書	(自衛隊災害派遣要請)	2号
自衛隊の撤収要請依頼書		3号
自衛隊の撤収要請書		4号
緊急通行車両確認証明書	3-5-1	1号
標章	(道路交通対策)	2号
災害概況即報	3-8	1号
被害状況即報	(災害情報等の収集・伝達)	2号

# 市町村行政機能チェックリスト

市町村行政機能即報	報告日時	年	月 日 時	分
(チェックリスト)	都道府県  市町村			
総務省受信者氏名	114. 3.13	職名	氏名	
災害名    (第 報)	報告者職名氏名		された者が記入する場	<b>合</b> )
災害名(第 報)_				
1. トップマネジメントが機能している	らカュ		はい口	いいえ口
①市町村長の安否は確認できたか			はい口	いいえ□
(市町村長不在の場合、代行者	の職名氏名			)
②災害対策本部会議を定期的に開催し	ているか		はい口	いいえ□
③災害応急対策業務等(例:避難所運	営、物資供給)(」	以下「業務等		, ., . <b>&gt;</b>
という) の役割分担を行い、責任者	が明確になってい	るか	はい口	いいえ□
④広報・報道対応を円滑に行えている	か(プレスリリー)	スの定例化等	) はv□	いいえ口
⑤特記事項				
2. 業務実施体制(人的体制)は整って				いいえ口
①職員は業務等を担うために適切に参う				いいえ口
(職員の参集状況 <u>約 %</u>	(業務等実施予定	職員約	名中約 <u></u>	_名参集))
②職員(一般行政)の応援派遣要請は	行ったか		はい口	いいえ□
③特記事項				
3. 業務実施環境(物的環境)は整って	こいろかい		<i>)</i> +1.1□	いいえ口
①災害対策本部が設置される庁舎に災		宇梅できなし		V · V · /
し次音が水本的が設置される方音に次ような損壊が生じているか	古刈水平印表物で	天旭 (さな)	はい口	いいえ□
②主要な庁舎等に住民窓口業務等を実	佐できわいとうな	-	_	
②主要な月音等に住民芯口来務等を失 いるか	心心 くさないよりな	1月塚/パエしく	はい口	いいえ□
③安否確認、被災者支援に不可欠な住	日記録笙のデータ	に古陪が生工		
の安台権  でいるか(停電、端末・サーバの損損			はい口	いいえ□
(いるか、(停電、端末・サーバの損事 ④特記事項	区、以固场/川、、//)	ムノベトりなる)		
<b>生竹山井</b> 央				

※ 第一報については、原則として、総務省消防庁へ「災害概況報」提出後、可能な限り早く(原則として発災後12時間以内)、分かる範囲で記載し報告すること。

1)派遣要請依頼書		
	第 年	号 月 日
(岐阜県災害対策本部長名) 殿	+	Д Ц
関市災害対策本部長		
関 市 長		印
自衛隊の災害派遣要請依頼について		
自衛隊法第83条第1項の規定により、自衛隊の派遣を要請されたく依頼します。		
記		
1. 災害の状況及び派遣要請の事由(以下は記入事例)		
(1) 災害の状況		
□災害の種類 水害、地震、津波、風害、火災、土砂崩れ、遭難、交通事故、		
その他( )		
□災害発生の日時 年 月 日 時 分		
□場 所 岐阜県関市		
□被害状況		
(2) 派遣を要請する事由		
2. 派遣を希望する期間 自 年 月 日 時 分		
至 年 月 日 時 分		
3. 派遣を希望する区域及び活動内容		
(1) 派遣区域 岐阜県関市		
(2) 活動内容		
4. その他参考事項(以下は記入事例)		
(1) 派遣を希望する人員・器材 名 器材		
(2) 現地において協力しうる団体、人員、器材等の数量及びその状況		
(3) 派遣部隊の宿営(宿泊) 地又は宿泊施設の状況		
(4) 現地における要請者側の責任者及びその連絡方法		
(5) 気象の概況		

(2)	撤収要請依頼書

(2)	<b>敵収要請依頼書</b>			
		第		号
		年	月	日
	(岐阜県災害対策本部長名) 殿			
	関市災害対策本部長		rn	
	関市長		印	
	自衛隊の撤収要請依頼について			
-	自衛隊の災害派遣を受けていましたが、(災害の復旧) もおおむね終了しましたので、 記のとおり撤収要請を依頼します。			
	記			
]	撤収要請依頼日時			
	年 月 時 分			
2	派遣要請依頼日時			
	年 月 日 時 分			
ć	撤収作業場所			
4	撤収作業内容			

第1号様式 (火災)							第		報
			報	告	日	寺 年	月	日	寺 分
			都	道	府 県	₹			
治吐片	F受信者氏名		市 (_;	出出	丁 木 卜 部 名	<b>न</b>			
	文洁有以右		報	<u>日 107 年</u> 告		-/ 3			
※ 爆発を除く。									
	性物 2 林野	3 車両 4	船舶 5	航空機	6 その	D他			
出 火 場 所 出 火 日 時	月日日	· 分	 ( 鎮 圧 日	時)	(	 月 日	 時	分	)
(覚知日時) (			鎮火E			月日	時	分	
火 元 の 業 態・ 用 途			事 業 所 (代表者 D	f 名 f 名)					
死者	(性別・年齢)	人							
死 傷 者	≠ 走	_	死者の生 理	じた 由					
	者 重 症 中等症	人 人							
	軽傷	人							
建物の概要			建築面積	•					
階層	1 A 1 A		延べ面積						
14.10	J.,	棟 ) 棟 ( <u>-</u> ,			建物体	損床面積			m²
焼 損 程 度 焼損	ŧ	<sup>™</sup> 〉計 棟 │ 棟 │	焼損面	ī 積		<sub>預</sub> 水面價 損表面積			m
	į	棟				焼損面積			а
り災世帯数			気 象 状	记					
沿下十十	x部(署)	台							
消防活動状況   消 防		台		人					
その									
数 <b>4 数</b> 助									
救 急 · 救 助活 動 状 況									
災害対策本部等 の 設 置 状 況									
その他参考事項									

(注) 第一報については、原則として、党知後30分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。 (確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

#### 第2号様式 (特定の事故)

第 報

事故名 { 1 石油コンビナート等特別防災区域内の事故 2 危険物等に係る事故 3 原子力施設等に係る事故 4 その他特定の事故

報	告	日	時	年	月	日	時	分
都	道	府	県					
市 (_消	防 z	T k 部	村 <u>名</u> )					
報	告	者	名					

### 消防庁受信者氏名

事	故	ζ ;	種	別	1 火災	2 爆	発 3	漏	えい	4	その	他	(			)									
発	生		場	所																					
事	業	ţj	所	名						特	別防	災区	」域			レイ 第二				、第	—和	重、^	]		
										発	見	日	時			F	1	日		時		分			
			日日		月 ( 月	日日	時 時	3	分 分 )	鎮 ( <i>!</i>	火 処 理	日 完	時 了)			J	1	日		時		分			
消	防饷	흰矢	口方	法							気象	.状涉	2												
物	質	の	区	分	1.危険物 2.5 5.毒劇物 6.6		然物 3. 7.その			4.可欠	然性; )	ガス		物	質	名									
施	設	の	区	分	1.危険物旅	b設 2.7	高危混	在施	設 3.	高圧	ガス	施設	է 4	.その	他	(						)			
施	設	の	概	要						危の	, 険 ‡	勿 施 玄	: 設 分												
事	故	の	概	要																					
死		傷		者	死者(性別・	年齢)			ر	,		負·	傷者	中等	症症傷					人人人人	(			人人人人	)
တ	事	) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	状   救状     本状	沿 等況	警戒区域の 使用停止命			月月	日日	時時		消消海自	事業	天にそれる	織防織の部(安	災 組 <u>他</u> 署 団	出 ————————————————————————————————————	場	人 ————————————————————————————————————	数	出	場 [ ]	資 <sup>†</sup>	幾	材 — — — — — —
そ(	の他 	1参	考	耳	İ																				

(注) 第一報については、原則として、覚知後30分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。 (確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

第3号様式	(数争		事故等)
20 U T TX 14	\ TX m.i	7X D) I	<b> </b>

第 報

時

日

	都	道	府	県	
消防庁受信者氏名	市 <u>( 消</u>	n+-	町 本 剖	村 <u>3 名</u> )	
	盐品	生	耂	4	

報告

日

時

年

月

事	故	災害	害利	重別	1 求	<b>汝急事</b> 故	2	救助事	故	3 武	<b>大力攻撃災害</b>	4	緊急対処事態		
発	生		場	所											
発	生	-	日	時		月	日	時	分		当加士士				
(	覚り	:D	<b>B</b> F	诗)	(	月	日	時	分	)	覚知方法				
事	故	の	概	要											
					死者	† (性別	•年齢	)			負傷者等			人(	人)
死		傷		者				計		人			∫ 重 症	人(	人)
													中等症	人(	人)
					不	明				人			軽 傷	人(	人)
救	(助部	隊	の	要否											
要	救護	者数	友(男	[込)							救 助 人	員			
救活	急動	の	救状	助											
災の	害效設	策置	本 <del>i</del> 状	部等											
そ	の他	参	考事	項	-										

- (注) 負傷者等欄の( )書きは、救急隊による搬送人数を内書きで記入すること。
- (注) <u>第一報については、原則として、覚知後30分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。</u> (確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

第4	-号様式(そ	の1	)							_										
	[災害	<b>手概</b> 法	兄即	報]						i	報	告	日	時	年	月	F	3	時	5
		消	防庁 <u>:</u>	受信	者氏名				_	į	都	道	府	県						
									•	ī (	市 <u>〔消</u>		町 本 部	村 名_)						
<u>災</u> 署	<b></b>					(第	- !	報)	_	i	報	告	者	名						
	発生場所	f							発:	生	日	時			F	<u></u>	日	時	<del></del>	分
災		ļ							ļ											
害																				
の																				
概																				
況																				
		1			Ī		I													
被	死 傷 者	死		者		人	不明	人	住			家—	全 壊		棟	<u> </u>	部破技	損 ——		榑
拟		負	傷	者		人	計	人					半壊	ξ	棟	床_	上浸	水		榑
害																				
の																				
状																				
1/\																				
況																				
	災害対策ス	本部	<b>等σ</b>	)	(都道	—— 府県	.)				(市	町村	·)							
応	設置状況																			
急																				
対策																				
の																				

(注) <u>第一報については、原則として、覚知後30分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。</u> (確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

状況

# 第4号様式 (その2)

(被害状況即報)

市田	<b>丁村</b> :	名										区				分	<b>\</b>	衤	皮	害	
			災	Ę	<b>手</b> 名	3						_	流	失	• 埋	没	h a				
災	害?	名	<u>***</u>				±ρ					田	冠			水	h a				
報台	• 告番·	号	第				報					,Lm	流	失	• 埋	没	h a				
			(		Ę	1	日	時現在	)			畑	冠			水	h a				
去品 <i>生</i>	告者	夕										文	教	į	施	設	箇所				
+1X	176	ш									そ	病				院	箇所				
		区			:	分		被	ì	害		道				路	箇所				
	死					者	人					橋	IJ		よ	う	箇所				
人的被害	行	方	7	下	明	者	人					河				Ш	箇所				
被害	貨傷	1	重			傷	人					港				湾	箇所				
	者	7) 	軽			傷	人					砂				防	箇所				
							棟				の	清	掃	ţ	拖	設	箇所				
	全					壊	世帯					崖	<	3	f	れ	箇所				
							人					鉄	道	7	不	通	箇所				
							棟					被	害	f	沿	舶	隻				
住	半					壊	世帯					水				道	戸				
							人					電				話	回線				
家							棟				他	電				気	戸				
	_	Ę	部	₹	诐	損	世帯					ガ				ス	戸				
被							人					ブー	ロッ	ク	塀	等	箇所				
							棟														
害	床	_	Ł	į	曼	水	世帯														
							人														
							棟				IJ	災	世		帯	数	世帯				
	床	-	下	;	曼	水	世帯				IJ	災	<u> </u>	者		数	人				
							人				火	建				物	件				
非住家	公	共	0	カ	建	物	棟				火災発生	危		険		物	件				
家	そ		0	D		他	棟				生	そ		の		他	件				

	区分		被	害	市本町部	<i>7</i> 2	7.6		
公	共 文 教 施 誌	9千円			村の	名	称		
農	林水産業施設	9千円			災設 害置	設;	置		
公	共 土 木 施 詰	设千 円			対状 策況	解	散		
その	の他の公共施言	设千 円							市町村長を長とした 設置した場合のみ
小	Ē	十千円			記入する		坐ノ、	( 007 2	・ 改画した物品 リルケ
	農業被害	1 千円			【住民避難 地区名	の状況】			
	林業被害	1 千円			世帯数、人	、数			
そ	畜 産 被 吾	1 千円			種別(避難	指示、避難	勧告、	避難準	備情報、自主避難)
	水 産 被 吾	1 千円			原因				
の	商工被	手円			発令時刻				
					解除時刻				
他					避難場所				
					(詳細につ	いては避難	勧告∙	指示状	況報告書に記入)
	そ の 他	也千円			消防職員	出動延	人数	人	
被	害 総 額	頁千 円			消防団員	出動延.	人数	人	
	災害発生場所								
	災害発生日時								
備	災害の種類概況								
17月	応急対策の状況								
	119番通報件数								
	•消防、水防、	救急∙救郥	助等消防機関(	の活動状況	ļ				
	・避難の勧告・	指示の状	況						
	・避難所の設施	置状況							
考	・他の地方公共	も団体へ(	の応援要請、救	数援活動の	状況				
	・自衛隊の派遣	遣要請、出	l動状況						
	・ボランティア・ ・ボランティア( ・その他関連	の活動状況				f等)			

- ※1 被害額は省略することができるものとする。
- ※2 119番通報の件数は、10件単位で、例えば約10件、30件、50件(50件を超える場合は多数) と記入すること。

1	۱ ۱	\ /	二	+	7	+ HF	1-12	쑄	W.	/_1	1	忶
(	1	) /	ſΤ	力	4	╮₽⊬	石	幸	'₹'	$\overline{}$	Ϋ́E	Ų,

(1) 1	1万个明有寺文刊 傳											
種別	1 行方不明者	2	身元不 の遺体		3	遺体引受のない遺化のない遺化のない遺化のない遺化のない		4 ~	その他	受付 番号		
氏			性		年	16.11	受付	付者				
名			別		齢	歳位		名				
本			<b>1</b>		· ·					届	出丿	
籍									(氏名)			
現												
住									(住所)			
所												
遺												
体												
0									(電話)			
現												
場												
識別	事項(着衣、所持品、	身長、	体格等	<u>(</u>								
										1	T	
<b>種</b> 別	1 行方不明者	2	身元不の遺体		3	遺体引受人のない遺体		4 ~	- の他	受付番号		
	1 行方不明者	2			3 年	のない遺体	. 受	4 そ 付者	- の他			
別	1 行方不明者	2	の遺体				受 受		- の他			
別 氏 名	1 行方不明者	2	の遺体性		年	のない遺体	受 受	付者	- の他	番号	出丿	
別氏名本	1 行方不明者	2	の遺体性		年	のない遺体	受 受	付者	で (氏名)	番号	出丿	
別氏名本籍	1 行方不明者	2	の遺体性		年	のない遺体	受 受	付者		番号	出 丿	
別氏名本籍現	1 行方不明者	2	の遺体性		年	のない遺体	受 受	付者	(氏名)	番号	出丿	
別氏名本籍現住	1 行方不明者	2	の遺体性		年	のない遺体	受 受	付者		番号	出ノ	
別氏名本籍現住所	1 行方不明者	2	の遺体性		年	のない遺体	受 受	付者	(氏名)	番号	出ノ	
別氏名本籍現住所遺	1 行方不明者	2	の遺体性		年	のない遺体	受 受	付者	(氏名)	番号	出ノ	
別氏名本籍現住所遺体	1 行方不明者	2	の遺体性		年	のない遺体	受 受	付者	(氏名)	番号	出ノ	
別氏名 本籍 現住所遺体の	1 行方不明者	2	の遺体性		年	のない遺体	受 受	付者	(氏名)	番号	出ノ	
別氏名 本籍 現住所遺体の現	1 行方不明者	2	の遺体性		年	のない遺体	受 受	付者	(氏名)	番号	出ノ	
別氏名 本籍 現住所遺体の現場			の遺体性別	Z	年	のない遺体	受 受	付者	(氏名)	番号	出ノ	
別氏名 本籍 現住所遺体の現場	1 行方不明者		の遺体性別	Z	年	のない遺体	受 受	付者	(氏名)	番号	出ノ	
別氏名 本籍 現住所遺体の現場			の遺体性別	Z	年	のない遺体	受 受	付者	(氏名)	番号	出ノ	
別氏名 本籍 現住所遺体の現場			の遺体性別	Z	年	のない遺体	受 受	付者	(氏名)	番号	出ノ	
別氏名 本籍 現住所遺体の現場			の遺体性別	Z	年	のない遺体	受 受	付者	(氏名)	番号	出ノ	

地域·地区支部

# (2) 災害遺体調書

, , -				
			番号	
搜索	京収容者	搜索収容班     第       代表者       氏     名	所属	
遺体	本の種別	1 身元不明の遺体 2 遺体引受人のない遺体	3 その他	
遺行	体発見 時	年 月 日 時 分		
	体発見			
場	所			
遺	本 籍			
体	現住所			
0	氏 名	身元不明 者の符号	性 男 年 齢 女	歳位
身	識別事項	」 頁(着衣、所持品、身長、体格等)		
元				
遺族	現住所	(電話	舌)	
その他	氏 名	(死者	音との続柄)	
の関	遺体の 引受け	可・不可 (引渡し 年 月	日)	
係者	遺骨の 引取り	可・不可 (引渡し 年 月	目)	
	分 日 食視) 時	月 日 時 分 <b>見</b> 分 (検視)	者	
検	案日時	月 日 時 分 検案医	師	
	幸許可証	年 月 日	遺体発見現場の概略図	
交	付 日			
火		年 月 日		
	持品の処			
	言考)	面にはりつけて下さい。		
/•\ ·	ノスマレス衣山			

F3-08-012

(3) E	5名札		(	(4) 災害遺体送付票	
	関市災害遺(	本		(送付番号)	
		'		災害遺体送付票	
	第    号			関市災害遺体第号	
				(氏名)を送付する	3
氏	名			年 月 日 (市長	)
				(火葬場) 宛	
(5) 遺	貴骨処理票	遺骨	- 処	理 票 市町村名 関 市	
	遺骨処理番号			11-57(174E   <del>2</del> 2   11-	
	災害遺体番号	第		号	
死亡	氏 名				
者	住 所				
	焼骨日時場所				
	氏 名				
引	住 所				
取人	死亡者との関係				
	年 月 日		年	月日	
遺	処 理 番 号				
留品	保管所				
准	-				

地域·地区支部

納骨場所

# (6) 遺留品処理票

市町村名 関 市

遺留品	品処理番号		
遺			
留品			
	氏	名	
引取	住	所	
人	死亡者との関	<b></b>	
	引取年月	日	
死	遺体番	号	
亡	氏	名	
者	住	所	
備る	与		
遺留品	品保管所		

地域·地区支部

### (7) 遺体の捜索状況記録簿

### 遺体の捜索状況記録簿

市町村名 関 市

				捜索	用機	械 器	具					
年月日 捜索 人員		借上	上費又は購入	八費	1	修 繕	費		実支出額	/ <del>.!!:</del>	<del>_1</del> z,	
平月日 	人員	名 称	数量	所有者 (管理者) 氏 名	金 額 (円)	修理月日	修繕費	修繕の概要	燃料費(円)	(円)	備	有

- (注)1. 他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。
  - 2. 借上費又は購入費については有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ、その借上費又は購入費を「金額」欄に記入すること。
  - 3. 「修繕の概要」欄には、故障の原因及び修理箇所を記入すること。

# (8) 遺体処理台帳

市町村名 関 市 洗浄等の処理 遺体 遺 族 実支出額(円) 遺体の一時保存料(円) 検案料(円) 死亡者 処 理 発見の 金額 備考 死亡者 年月日 日時及 品 氏 名 名 氏 名 との関係 量 (円) び場所 計 人

地域·地区支部

### (9) 埋葬台帳

市町村名 関 市

I	IM +#+	死 亡 者		埋葬	草を行った者		埋 葬	費		113
	埋 葬 年月日	氏 名	年齢	死亡 者との 関係	氏 名	棺(付属品 を含む) (円)	埋葬又は 火葬料 (円)	骨箱 (円)	計 (円)	備考

- (注)1. 埋葬を行った者が市長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入しておくこと。
  - 2. 市長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨を「備考」欄に明らかにしておくこと。
  - 3. 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入しておくこと。

파막 파스 구선
地域·地区支部

### (1) 医療救護班診療記録

### 医療救護班診療記録

救	地域·地区支部	医師	班	長	
護		氏名	班	員	
所 名		担	当職員	名	部(課・事務所)

年月日	住	所	患者氏名	性別	年齢	傷病名	程度	措置概要	備考
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
							重・中・軽		
	計・合計	٨							

- 1 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。
- 2 重症:入院1月以上を要する 中症:入院治療を要する 軽症:入院治療を要しない。
- 3 措置概要は、特に他病院等への「転送」の有無について、記載もれのないよう注意すること。

### (2) 医療救護班医療衛生材料使用簿

### 医療救護班医療衛生材料使用簿

救	地域·地区支部	医師	班	長	
護		氏名	班	員	
所		+= 2	当職員	Þ	部(課・事務所)
名		1旦:		<b>、</b> 在	司(味・事物川)

医薬品衛生器材料品名	単位	単価	摘	要	受	払	残	備	考
小計・合計									

- 注1 救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を明らかにする。
- 2 摘要欄は、受入れ先及び払出先を記入する。
- 3 備考欄は、払高数量(使用料)に対する金額を記入する。
- 4 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

### (3) 医療救護班の編成及び活動記録(集計報告)

## 医療救護班の編成及び活動記録(集計報告)

						地域·地区支部
期間	救護所名	診療 患者数	死 体 検案数	班の編成	班長職氏名	備考
小計·						
合 計	) ) . // . D ] w					

- 注 1 地区ごとに作成する。
  - 2 診療患者数は、延人員数を記入する。
  - 3 班の編成欄は、職種ごとの人員を記入する。
  - 4 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

### (4) 医薬品衛生材料受払簿

### 医薬品衛生材料受払簿

市町村名:関 市 NO. /

					л. 111 н .	因 11110. /			
п				単位					
品名				呼称					
年日日	按 亜 墹	Σ <b>Σ</b> ,	+/		取 扱 者	<b>供                                    </b>			
年月日	摘要欄	受	払	残	取 扱 有	備考欄			
小計・									
合 計									
н н	1	I	I						

### 注1 品目ごとに作成する

- 2 摘要欄には、購入先及び払出先等を記入する
- 3 備考欄には、購入金額及びその内訳を記入する
- 4 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

### (5) 病院診療所医療実施状況

### 病院診療所医療実施状況

市町村名:関 市 NO. /

					⇒⊘	診療 診療報酬		1 101		
地	診療		診療期間			· :分	点	数	金額	
区		患者氏名		病 名	入	通	入			備考
	機関名		(月日)					通	(円)	
					院	院	院	院		
計										
計	사	r		_						
	機関	人				1				

注1 地区ごとに記入する。

- 2 診療所ごとに記入する。
- 3 「診療期間」欄は、「○月○日~○月○日」と記入する。
- 4 診療区分欄は、該当欄に○印を記入する。

### (6) 助産台帳

# 助 産 台 帳

				1 1 110.		
						地域·地区支部
	べん者	分べん	助産機関	分べん	金額	連絡先
氏 名	住 所	の日時	の名称	期間	','	
小計•						
合 計	人					

注1 「分べん期間」欄は、「○月○日~○月○日」と記入すること

<sup>2 「</sup>小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

#### F4-02-01 炊き出し支援要請に関する様式

様式第1号

 第
 号

 年
 月

 日

### 災害時における炊き出し支援の要請書

岐阜県知事 様 (岐阜県災害対策本部長)

〔岐阜県健康福祉部生活衛生課扱い〕

市町村長 ( 市町村災害対策本部長)

災害時における炊き出し支援に関する協定第2条の規定に基づき、(一社)岐阜県調理師連合会に 下記のとおり支援を要請します。

記

避難所 等の状況	施設名	名			ì	壁難者数			
	所在均	也			·				
	ライフラン	1	電気:有・無 ガス:プロパン・都市ガス・無 水道:有・無						
	調理器具	等	ガス台 ( その他 (	) • 3	クッキン	ノグヒーター	<b>-</b> (	)•鍋(	)
	食	<b>i</b>	有(					)•無	
要請事項		調理師の派	遣・食材の調	幸・調理	器具等	の調達・そ	の他(		)
期間		年	月 日	( )	から	年	月	日 (	)
連絡窓口		所 属: 電話番号: E-mail:				氏 名: FAX 番号:			
備考									

#### F4-02-01 炊き出し支援要請に関する様式

様式第2号

 第
 号

 年
 月

 日

### 災害時における炊き出し支援の支援要請書

(一社) 岐阜県調理師連合会長 様

岐阜県知事

(岐阜県災害対策本部長)

災害時における炊き出し支援に関する協定第2条の規定に基づき、下記のとおり支援を要請します。

記

	施設名	避難者数								
	所 在 地									
避難所等 の状況	ライフライン	電気:有・無 ガス:プロパン・都市ガス・無 水道:有・無								
	調理器具等	ガス台 ( )・クッキングヒーター ( )・鍋 ( ) その他 ( )								
	食材	有()・無								
要請事項	調理師の派遣・会	食材の調達・調理器具等の調達・その他( )								
期日	年月	日()から 年 月 日( )								
連絡窓口	所 属: 電話番号: E-mail:	氏 名: FAX 番号:								
備考										

#### F4-02-01 炊き出し支援要請に関する様式

様式第3号

年 月 日

### 支援結果報告書

岐阜県知事 様 (岐阜県災害対策本部長) [岐阜県健康福祉部生活衛生課扱い]

(一社) 岐阜県調理師連合会長

災害時における炊き出し支援に関する協定第4条第3項の規定により、下記のとおり報告します。

記

避難所等	月	日	派遣会員数	提供メニュー及び提供数

(報告者・問い合わせ先)

担当者	
電話番号	
FAX	
E-mail	

# 様式! 避難所開設チェックリスト(市担当者用)

項目	確認内容	チェック
1. 避難所に到着	・建物内に人がいる場合は、安全なスペースへ移動さ	
	せる	
2. 施設全体の確認	・周辺施設が避難所施設に倒れ込む危険性はないか	
※2次被害を防ぐため、この項	・建物は傾いていないか	
目内で問題点があれば、施設状	<ul><li>建物にひび割れはないか</li></ul>	
況の確認を止め、別の避難所へ	・壁の剥落はないか	
の誘導を行います。	・屋根の落下や破損はないか	
3. 施設内の確認	・天井の落下や亀裂はないか	
	・床に亀裂や散乱物はないか	
	・照明が落下や破損していないか	
	・窓ガラスが割れたり、ひびが入っていないか	
	・火事は発生していないか	
	・廊下は安全に通行できるか	
	・階段は安全に上り下りできるか	
	・非常階段は使用できるか	
	・トイレは使用可能か	
4. ライフラインの確認	・電気は使えるか	
	・水道は使えるか	
	・ガスは使えるか	
5. 通信機器の確認	・防災無線は使用できるか	
	・電話、FAXは使用可能か	
6. 受入れスペースの確保	・救護室(スペース)は確保したか	
及び避難者の振り分け	・要援護者用の部屋(スペース)は確保したか	
	・本部室(スペース)は確保したか	
	・ペット同伴用の部屋は確保したか	
	・居住地区毎の振分けを行ったか	
7. 避難所の開設	・避難者の受入れを開始する	
8. 災害対策本部への報告	・避難所開設を本部へ連絡したか	
9. 住民への広報	・避難所開設の住民への周知を行ったか	
10. 避難者の把握	・世帯毎に避難者カードの配布、記入を依頼したか	
11. 避難者への説明	・分かっている範囲での被害状況を伝えたか	
	・トイレ等の場所を伝えたか	
	・食料や毛布の配布について伝えたか	
	・避難者カードの記入の再依頼	
12. 災害対策本部への報告	・応援人員必要性の有無について	
	・物資の必要性の有無について	
	・現時点での避難者数について	
その他気付いた点		

様式2 市町村長あて							避	進所名				受	付番号			
	避	難者	カ	— F			記入	年月日		令和	П	年	J.	]	日	
ふり	りがな		携帯電話番号(										(	)		
世	帯代表	者名								なければ		至)	`	, _		
住」	<b></b>	住所	岐阜県	<b>県</b>			市町村									
自宅 □持家 □賃貸 種類 □その他( )								京屋状況	□全	壊 □≒ 下浸水			部損壊 □停電		上浸水 ス停止	
1年			(		,		扂	居住可否	□可		可					
Ē	<b>担</b> .	車種: 色:		ナンハ゛ 駐車場					ζ	<sup>ペ</sup> ットの 同伴		□有□無	(種類 <b>※</b> ペット	台帳へ	) も記入	
	避難 <i>0</i> (複数回	D状況 回答可)	□避難	□避難所 □在宅 □車中 □屋外がい(場所: )□その他( )												
				配慮が必要な事項(✔を記入したものは、下部に詳細を記入)												
		氏名		性別	年齢	妊	要		障がい			1		アレ	817	そ
						妊産婦	要介護	身体		精神	知的	発達	その他	ルギー	服薬	その他
	世帯代	表者		□男□女	歳			* *	]内部 ]聴覚							
家族の				□男□女	歳				] 内部 ]聴覚							
状況				□男□女	歳			* *	]内部							
				□男□女	歳			□肢体 □ □視覚 □	]内部 ]聴覚							
				□男□女	歳				]内部 ]聴覚							
				□男□女	歳				]内部							
			入れた 細記入	_												
避難所運営に協力できること(資格・特技)																
	親族等からの 安否確認への回答 □可 □不可						家族全情報開	全員の同意を得 引示を希望した	导たう.	えで <b>√</b> を 合は、必	記入が申	.するこ し出を	こと。ま	た、D と。	Vの被	医害等
·i艮	:前時	退所年	月日		令和	年	月	日		連絡先						
退所時 超所等 都道 和道							<u> </u>									

※上記の記入事項について、避難所運営(食料・物資の提供と配慮事項への対応等)のための避難所運営委員会及び運営班への情報提供と、 災害対策基本法第90条の3に基づく被災者台帳の作成に利用をしますのでご了承下さい。

# 避難所開設報告書

1			<u>ن</u> ز	発信	or	受信				
2	報告日	<b>日時</b>			年	月	日	時	分	
3	報告	手段	電話・	FAX	・メール	·	・その他	ļ (		)
4	送信	<b></b>								
5	受信	<b>当</b>								
6	避難序	近名								
7	避難和	重別			高齢者等過	選業・選業	指示・自	主避難		
8	避難t	世帯数								世帯
9	避難	<b></b> <b>当数</b>								人
10	今後の見込	の避難者数の増減 込み		増加	□傾向 •	減少傾	向 •	変化なし		
	避	建物の状況		安全	• 要》	主意 •	危険	<ul><li>未実施</li></ul>	<u> </u>	
11	難所	ライフライン		停電	<ul><li>電話</li></ul>	汝障 •	断水	・ ガス停	〕	
''	状	土砂崩れ			あり・	兆候あ	, l) ·	なし		
	況	道路状況		通	行可・片側	則通行可	・渋滞・	通行不可		
12	特記	事項(必要な物資、	人命救	助、応急	危険度判別	定など)				

<sup>※</sup>この報告書は、避難所開設直後に報告します。

<sup>※</sup>発信者側からの送付が困難な場合は、受信者側で聞き取った内容を記載します。

# 避難所状況報告書〈第報〉

避難所名:

日時:	年	月	B	時	分
<b>⊢⊢ -′</b> 1 .		/ J	_	F')	/ 3

	送信者							受信者				
		避	難	者	IC	関	す	る情	報			
	避難所				世代	帯		避	難所			人
\n±	屋外テント			世帯			<b>1</b> 04	屋外	テント			人
避難	車中				世	带	避難	Ē	車中			人
世	在宅				世	#	二 難 [   者	₹	生宅			人
帯数	帰宅困難者				世	#	数	帰宅	困難者			人
	その他(	)			世名	帯		その他	.(	)		人
	合 計				世名	帯		合	計			人
	今後の避難者数の 増減の見込み				増	加作	頂向	• 減少傾	i向 ·	変化	なし	
	今後の避難所の 継続の見通し			i	継続予	定	•	閉鎖予定(	〔時期:		)	
避難	ライフライン				停電	•	電	話故障・	断水	· 力	ス停止	
所状	土砂崩れ					đ	あり	• 兆候あ	, i	なし		
況	道路状況			道	<b>通行可</b>		片	側通行可	• 渋	# •	通行不可	
特記	事項(懸案事項、応	援職	員の必	必要性	、避難	惟者(	の様-	子など)				

※発信者側からの送付が困難な場合は、受信者側で聞き取った内容を記載します。

# 事務引継書

避難所名:

日時: 年 月 日 時 分

	前任者	後任者
担当者名		
業務内容		
業務における 注意点		
避難者の様子		
避難者からの 要望・苦情		
対応状況		
情報共有事項		
その他		

# 避難所業務日誌

避難所名			Ŧ	班(担:	当)名					
担当者名 ※応援職員の場合は派遣 元市町村名も記載			勤務	時間/	′業務内	容				
名前	年	月 時	日( 分	)	~	年	月 時	日 分	( )	)
※市町村名	【業務内容】									
名前	年	月 時	日( 分	)	~	年	月 時	日 分	( )	)
※市町村名	【業務内容】									
名前	年	月時	日( 分	)	~	年	月 時	日分	( )	)
※市町村名	【業務内容】									
名前	年	月 時	日( 分	)	~	年	月 時	日分	( )	)
※市町村名	【業務内容】									
特記事項(要望、苦情、	改善点など)									

# 食料依頼伝票 兼 処理表

No.

	発信 日時			年	月	日(	)	時		分	
	避	避難所名			担当	<b>省</b> 者名					
	難	住所 〒			TEL						
避	所				FAX						
難		避難者用	食			3E	食に	<b>-</b>	7		
所	依			合計	食	要援護者	等に配慮				
用	頼	その他 (在宅避難者など)	食			した食事	<b>まとする</b>		J		
	内	その他の依頼食料									
	容										

 $\downarrow$   $\downarrow$ 

	処理 日時	年	月	日(	)	時	分			担当者名	
	処理	避難者用 その他 (在宅避難	者など)	食食	合計			食		食は 者等に配慮 事とする	
災害	内	その他の依	<b>対頼食料</b>								
災害対策本部用	容										
部 用	発達	主業者									
	運送	送業者									
	避業	惟所到着予定	時刻								
			年	月		日(	)	Ħ	Ŧ	分	

様式8

# 物資依頼伝票 兼 処理表

No. 年 月 日() 年月日() 発信日時 受信日時 時 分 時 分 避難所名 担当者名 ₹ 住所 発注業者 TEL FAX 運送業者 担当者名 出荷可能 個口 備考 備考 依頼項目 数量 (サイズ等) (箱サイズ等) 数量 数量 1 災 2 避 害 3 対 難 **4** 策 所 **(5)** 本 **6**) 部 用 7 用 (8) 9 10 特記事項 特記事項

# 食料·物資管理簿

項目	品 名	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
食料											
調味料											
司列4个个个											
飲料水											
飲料水											
生活											
用品											
衣料品											
その他											
	1= .1. 4										
	担当者サイン										

<sup>※</sup>市の備蓄品、義援物資等によって適宜項目を追加・変更しつつ使用する。

<sup>※</sup>なお、本様式には日付、在庫数を記入し、担当者は在庫数を確認の上、サインするものとする。

# ペット飼育者台帳

Nο.

#### 避難所名

	飼育者 について	ペット の種類	ペット の名前	性別	体格	毛色	登録 日	退所日	備考(ワクチン接 種の有無等)
1	氏名 住所 TEL			オス ・ メス			/	/	
2	氏名 住所 TEL			オス・メス			/	/	
3	氏名 住所 TEL			オス・メス			/	/	
4	氏名 住所 TEL			オス ・ メス			/	/	
5	氏名 住所 TEL			オス ・ メス			/	/	
6	氏名 住所 TEL			オス ・ メス			/	/	
7	氏名 住所 TEL			オス ・ メス			/	/	
8	氏名 住所 TEL			オス ・ メス			\	\	
9	氏名 住所 TEL			オス ・ メス			/	/	
10	氏名 住所 TEL			オス ・ メス			/	/	

特記事項(避難者からの苦情、トラブル、衛生環境など)

# 避難所ボランティア受付簿

Nο.

避難所名 日時

	ボランティア について	年齢	性 別	職業		過去のボランティア経験	備考
	氏名		男		有	内容:	
1	住所		•		•		
	TEL		女		無		
	氏名		男		有	内容:	
2	住所		•		•		
	TEL		女		無		
	氏名		男		有	内容:	
3	住所		•		•		
	TEL		女		無		
	氏名		男		有	内容:	
4	住所		•		•		
	TEL		女		無		
	氏名		男		有	内容:	
<b>⑤</b>	住所		•		•		
	TEL		女		無		
	氏名		男		有	内容:	
6	住所		•		•		
	TEL		女		無		
	氏名		男		有	内容:	
7	住所		•		•		
	TEL		女		無		
	氏名		男		有	内容:	
8	住所				-		
	TEL		女		無		
	氏名		男		有	内容:	
9	住所				•		
	TEL		女		無		
	氏名		男		有	内容:	
10	住所				-		
	TEL		女		無		

特記事項(避難者からの苦情、トラブル、活動中の事故など)

### 取材者・訪問者への注意事項

- I. 当避難所の取材又は研究のための調査等で訪問を希望される方は、事前に当避難所の広報担当者までご連絡していただきますよう、お願いします。
- II. 避難所内では、バッジ、名札、ベスト等を着用し、身分を明らかにして下さい。
- III. 避難所内では担当者の指示に従って下さい。
- IV. 取材や見学が可能な(部屋)スペースは、原則〇〇のみです。それ以外の、居住スペースや物資倉庫等は、立ち入り禁止とします。
- V. 避難所内は非常にデリケートな空間です。そのため、勝手に避難者にインタビューしたり、避難所内を撮影するような行為は禁止とします。
- VI. オンエア日や記事掲載日等が決定しましたら、下記まで連絡願います。なお、取材・訪問等又は避難所の運営に関して、お問い合わせ等ございましたら、合わせて下記まで連絡願います。

○○避難所 住所 〒 -TEL 広報担当

### 避難所生活ルール

※内容はあくまで例示です。状況に応じ修正してください。

この避難所の共通ルールは以下のとおりです。

避難生活をされる方は守るよう心がけて下さい。

### 関市災害対策本部

- 1 この避難所は、地域の防災拠点です。
- 2 この避難所の運営に必要な事項を協議するため、施設の管理者、避難者などの代表からなる避難所運営委員会(以下「委員会」という。)を組織します。
  - ・委員会は、毎日午前 時と午後 時に定例会議を行うこととします。
  - ・委員会の運営組織として、総務、名簿、食料、物資、救護、衛生、連絡・広報の運営班を避難者で編成します。
- 3 避難所は、電気、水道などライフラインが復旧する頃を目処に閉鎖します。
- 4 避難者は、家族単位で登録する必要があります。
  - ・避難所を退所する時は、委員会に転居先を連絡して下さい。
  - ・犬、猫など動物類を室内に入れることは禁止します。
- 5 職員室、保健室、調理室など施設管理や避難者全員のために必要となる部屋又は危険 な部屋には、避難できません。
  - ・避難所では、利用する部屋の移動を定期的に行います。
- 6 食料、物資は、原則として全員に配給できるまでは配給をしません。
  - ・食料、生活物資は避難者の組ごとに配給します。
  - ・特別な事情の場合は、委員会の理解と協力を得てから行います。
  - ・配給は、避難所以外の近隣の人にも等しく行います。
  - ・ミルク・おむつなど特別な要望は、室で対処します。
- 7 消灯は、夜 時です。
  - ・廊下は点灯したままとし、体育館などは照明を落とします。
  - ・職員室など管理に必要な部屋は、盗難などの防止のため点灯したままとします。
- 8 放送は、夜 時で終了します。
- 9 電話は、午前 時から夜 時まで、受信のみを行います。
  - ・放送により呼び出しを行い、伝言を伝えます。
  - ・公衆電話は、緊急用とします。
- 10 トイレの清掃は、朝 時、午後 時、午後 時に、避難者が交替で行うことにします。
  - 清掃時間は、放送を行います。
  - ・水洗トイレは、大便のみバケツの水で流して下さい。
- 11 依頼事項について
  - ・公衆衛生のため、手洗い、うがい、消毒、マスク着用を励行して下さい。
- 12 飲酒・喫煙は、所定の場所以外では禁止します。なお、裸火の使用は厳禁とします。

避難者のみなさんは、当番などを通じて自主的に避難所運営に参加して下さい。

- ※下線部は、任意に設定します。
- ※本ルールは、情報共有のため避難者の目の届くところに掲示します。

# 退所届

### 避難所名

退所年月日	年	月	日	( )	続柄	年齢	備考
世帯代表者名							
退所家族名							
入所継続家族							
退所後の		住	所		₹		
連絡先		TE	ΞL				
退所の理由 (仮設住宅の完 成、ライフライン							
の復旧など)							
特記事項							

							J-	-	F	関連 J −	
			情	報	資	料	•				
受信日時	令和	年	月	日()	)			時		分	
情報発信組織		・支	部要員			<b>卜事務所</b> ≷( ) (性	• 関警 別: 男	)	<ul><li>その他</li></ul>		
情報発信者氏名	部署名【 氏名 ( 電話 (			) )		情報受信	信者				サイン個
件名											サブリーダー
場所											-
事象 (該当にO)	人的被害	家屋被害	道路・水	路河	ווון	土砂	ライフライン	交通機関	避難情	報るその他	本部長
概要 (被災人数)	死 者 人	行方不	明者人	負傷者	. 人	軽傷者 人	重傷者	人	避難者 人	要救助者人	=
		,		内容	· F						MMV64E
											情報先信
											日動祭

### 事案に対応する責任者にOをつける

本部長	副本部長	副本部長	消防対策部門長	常備消防部長	非常備消防部長	市長公室長	協働推進部長	財務部長
	(副市長)	(教育長)	(消防長)	(消防署長)	(消防団長)			
会計管理者	議会局長	健康福祉部長	市民環境部長	教育局長	産業経済部長	基盤整備部長	参事	_

	処置・指示・対応										
時刻	対応する課	処置・指示内容	処置対応報告 ☑								
:											
:											
:											
:											

# 避難所物品受払簿

No.

避難所名	担当	職員名	3
品 名	単位	好 称	<b></b>

受取日	摘要欄	受入数	払出数	残数	記入者	備考

- (注) 1 品目ごとに作成する。
  - 2 摘要欄には、購入先及び払出先等を記入する。
  - 3 備考欄には、購入金額及びその内訳を記入する。

(住所 氏名)			義援	金品領収書	NO.	
(住別 以名)						
		殿				
	金額	¥				
※物資名	又は梱包数					
ただし、〇〇 上記のとおり						
年	月 日					
		関	市	災害対策本部長		
		関	市	長		印

(1) 住家被害認定調査票(地震-木造・第1次A)

木 1 2	造第調調調所世住	<b>生地</b> <b>养主</b>	<b>調査票番号</b> 可 年 :	月~		配置状況	した住家の範囲が	分かるように記載						
5	本念を検													
6	傾斜	測定箇所 水平 距離 (cm)	1	2	3	4	平均値	6cm以上 (下げ振り120cm の場合)	● □判定へ (全壊)					
7	躯体		の損傷率が75% 傷長/全長×1	損傷率 75%以上	→ □判定へ (全壊)									
	••	損傷率	0%	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%						
							C	7						
8	基礎	損害割合	0	1	2	4	6	1						
8	<b>基</b>		0 ~10%	<sup>1</sup> ~20%	2 ~40%	~60%	~80%	~100%						
8	<b>基</b>	割合	-											
8	基礎	割合面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%						
•	基礎壁	割合 面積率 無被害	~10% 0	<b>~20%</b>	<b>~40%</b>	<b>~60%</b>	<b>~80%</b>	~100% 0						
•	礎	割合 面積率 無被害 程度 I	~10% 0	~20% 0 2	~40% 0 3	<b>~60%</b> 0 5	~80% 0 6	~100% 0 8						
•	礎	割合 面積率 無被害 程度 I 程度 I	~10% 0 1 2	~20% 0 2 4	~40% 0 3 8	<b>~60%</b> 0 5 11	<b>~80%</b> 0 6 15	0 8 19						
•	礎	画 無 程 度 Ⅱ 程 度 Ⅲ	~10% 0 1 2 4	~20% 0 2 4 8	~40% 0 3 8 15	<b>~60%</b> 0 5 11 23	~80% 0 6 15	**************************************						
•	礎	画積率 無被害 程度 Ⅱ 程度 Ⅲ 程度 Ⅳ	~10% 0 1 2 4 6	~20% 0 2 4 8	~40% 0 3 8 15	~60% 0 5 11 23 34	~80% 0 6 15 30 45	**************************************						
•	礎	副	~10%  0  1  2  4  6  8	~20% 0 2 4 8 11	~40% 0 3 8 15 23 30	~60% 0 5 11 23 34 45	~80% 0 6 15 30 45	8 19 38 56 75						
•	礎	割 無程度 Ⅱ 程度 収 種程 を 様 を 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	~10%  0  1  2  4  6  8  ~10%	~20%  0  2  4  8  11  15  ~20%	~40%  0  3  8  15  23  30  ~40%	~60%  0  5  11  23  34  45  ~60%	~80%  0  6  15  30  45  60  ~80%	200% 0 8 19 38 56 75 2100%						
9	壁	副 無程度 Ⅱ 程度 度 w 本書	~10%  0  1  2  4  6  8  ~10%  0	2 4 8 11 15 ~20% 0	~40%  0  3  8  15  23  30  ~40%  0	~60%  0  5  11  23  34  45  ~60%  0	~80%  0  6  15  30  45  60  ~80%  0	~100%       0       8       19       38       56       75       ~100%       0						
•	礎	画 無 程 程 程 程 面 無 程 理 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度	~10%  0  1  2  4  6  8  ~10%  0  0	20% 0 2 4 8 11 15 ~20% 0	~40%  0  3  8  15  23  30  ~40%  0  1	~60%  0  5  11  23  34  45  ~60%  0  1	~80%  0  6  15  30  45  60  ~80%  0  1	~100%       0       8       19       38       56       75       ~100%       0       2						
9	壁	面無程程程程面無程度 度度 度度 度度 度度 度度 度度 度度 度度 度度 度度 度度 度度 度	~10%  0  1  2  4  6  8  ~10%  0  0	~20%  0  2  4  8  11  15  ~20%  0  1	~40%  0  3  8  15  23  30  ~40%  0  1	~60%  0  5  11  23  34  45  ~60%  0  1  2	~80%  0  6  15  30  45  60  ~80%  0  1  3	~100%       0       8       19       38       56       75       ~100%       0       2       4						
9	壁	面無程程程程 面無程程程程	~10%  0  1  2  4  6  8  ~10%  0  0  1	~20%  0  2  4  8  11  15  ~20%  0  1  2	~40%  0  3  8  15  23  30  ~40%  0  1  2  3	~60%  0  5  11  23  34  45  ~60%  0  1  2  5	~80%  0  6  15  30  45  60  ~80%  0  1  3  6	~100%       0       8       19       38       56       75       ~100%       0       2       4       8						

【損害割合算出表】 (注)「6個斜」の平均値が2cm未満の場合「計あ」の値を、2cm以上の場合「計あ」又は「計い」のうち大きい値を住家の損害割合とする。

傾斜	8基礎	+9壁 -	+ 10屋根	= 計あ	傾斜	6傾斜 1 5	+ 10屋根	= 計い
無	損害割合	10%未満	10%	以上 2	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
判定		口 準半壊に至らな (一部損壊)		上坡	口 半壊	□ 中規模半壊	□ 大規模半壊	全壊

### (2) 住家被害認定調査票(地震-木造・第1次B)

住家被害認 調査票 地プレン 第1次B 調査を 1 調査を 1 調査を 1 調査を 世帯主	調査票 番 <del>号</del>	月 ~	日:	配置状況	■判定した住家の輸	竜囲が分かるように記載	
	主家である(居住	このために使用さ	られている)				
4 応急危険 (危)	/要、/調、/不\ ■応  注,  査,  明,   意/ 流	急危険度判定調査表等に	こ記載されている傾斜、コク	火ント等を転記			
<b>5 外</b> □ 住家 □ 一見 □ 基礎	全部が倒壊 の一部の階が全 して住家全部が のいずれかの込 面の亀裂が住家	流出又はずり落 2が全部破壊し、	かつ 基礎直下	の地盤が	流出•陥没	いずれかに 該当	● □判定へ (全壊)
瀬定箇所 水平	1	2	3	4	平均值	6cm以上	
6 斜 距離 (cm)						(下げ振り120cm の場合)	→ □判定へ (全壊)
40	の損傷率が75% 傷長/全長×1					損傷率 75%以上	→ □判定へ (全壊)
8 基 損害 割合	無被害	1	2	4	6	7	
9 壁 損害割合	無被害	8	15	30	45	75	
10 屋 損害割合	無被害	2	3	6	9	15	

(備考)

【損害割合	<b>算出表】</b> 傾斜」の平均値が	\$20mPl + (60	····· + 港)	でなる	AI:	こ該当かっ	OBに診	3当(傾斜有を計)	<b>库</b> )	
	壁」の損害割合が				上記 計無を記	<b>己以外</b> ∤算)▼				
	8基礎	十 9壁	+ 10	0屋根	=	計		6傾斜	+ 10屋根	= 計
傾斜無							傾斜有	1 5		
	損害割合	10%未	満	10%	以上	20%以	上	30%以上	40%以上	50%以上
判定		□ 準半壊に至 (一部損		準半	•	口 半城	麦	口中規模半壊	口 大規模半壊	口 全壊

### (3) 住家被害認定調査票(地震-木造・プレハブ第2次-1)

住家被害認定 調査票 地震 木造・プレハブ		3	外観	(d     (d       d         d         d	主家全部が倒壊又は 主家の一部の階が全部 主家全部が流出又はす 也盤被害により基礎に 地盤面の亀裂が住家直 縦断・横断	間壊 *り落ち <b>該当</b> <b>該</b>	れがに □判定へ (全壊)
第2次-1				水	①	平均値	
調査日     令和     年       1     調査時     :	月 ~ :	<b>∃</b>	石石	平距離	2		口判定へ
調査員所在地			斜	C m	3		(全壊) 6cm以上
世帯主 2 住 家 □住家である(居住	このために使用されている			<u> </u>	4		(下げ振り 120cmの場合)
<b>基</b> 損傷長 (m)	全長 (m)				長/全長× 100	損傷率 75%以上	口判定へ (全壊)
6 柱(又は耐 口柱(又は耐	力壁)の損傷率が75%	6以上				- 損傷率 75%以上	□判定へ (全壊)
力壁)	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7					」/5%以上 	$\rightarrow$

### 【損害割合算出表】

#### (注)d·g列は、四捨五入した値を記入する。 h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

	а	b	С	d	•	f	g	h
		階別部位兒	削損害割合		階別重	み付け		(口傾斜が
部位	構成比	主要階	その他階	部位別 損害割合	主要階	その他階	重み付き 損害割合	2cm以上) 傾斜を考慮し た損害割合
		в*	c <sup>*</sup>	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→ a)	あ>い→d あ≦い→g
9 外壁	10							
内壁	10							
1 床 (階段會)	10							
5 基礎	10	「5.基礎」の扱	傷率×0.1					
2 柱(又は	15			11%以上で全壊				
屋根	15							
4 天井	5							
5 <b>建具</b>	15							
6 設備	10							
※ B及	ぴこは、	調査票3頁のB	及びCの値とす	გ. 👢	「あ」又は「い」		1	15%
			랆	b	及上の場合は 又は「う」)の中 を住家の損害	で最大の値	<i>\</i> /	<u>ځ</u>

	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
判定		口 準半壊に至らない (一部損壊)	□ 準半壊	口 半壊	口中規模半壊	口 大規模半壊	口 全壊

(4) 住家被害認定調査票(地震-木造・プレハブ第2次-2)

	訓	査	票	~_		0 - <del>d-</del> 1	-										-	王多	웹	•	~	<i>0</i> ){{	也階	•	
_	造 第 <i>2</i>	也是	Ē	_	番	査	示 号									(			) 隍	华[	面図		屋村	退伏	図
不	道 第 <i>2</i>	·フ 2次	レハ  -2	ハフ :																					
																_									
						<u></u>							 	 											
		-				-			 																
	~~~			-		ļ			 																
						ļ		ļ	 	 	 	 	 	 	 ļ										
7													 												
				-		-			 																
						ļ			 	 	 	 	 	 											
	_																								
				-		-		ļ	 																
																L									
																_									
				-					 																

### (5) 住家被害認定調査票(地震-木造・プレハブ第2次-3)

	家被	生物學							/ <del>知</del> 4八 、			主	要階		その化	也階	計
		<b>查</b> 票		<b>上票</b>						面	床	(1)		(2	)		1.0
	造・∶	震 プレハブ	番	号						8 積率	屋根	(3)		(4)	)		1.0
	第2	次−3									连似						1.0
						要階								)他階			
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率 無被害	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	外	無被害	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	
	壁	程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	=1 /4 \	程度I	0	0	0	1	1	1	=1(0)
9		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1) B	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2) C
	10	程度皿	1	1	2	3	4	5	D	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	
	%	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度V	1	2	4	6	8	10		程度V	1	2	4	6	8	10	
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	内	無被害	0	0	0	0	0	0		無被害	0	0	0	0	0	0	
	壁	程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	=1 (.)	程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	-1 (-)
10		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1) B	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2)
	10 %	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	Б	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	
	70	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度V	1	2	4	6	8	10	=1	程度V	1	2	4	6	8	10	=1
	床	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率 無被害	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	階	無被害	0	0	0	0	0	0		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	0	
	段	程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	=L v (1)	程度Ⅱ	0	0	0	1	1	1	=1 × (0)
11	含	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1) B	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	計×(2) C
	10	程度皿	1	1	2	3	4	5	2		1	1	2	3	4 C	5	
	%	程度Ⅳ	1	2	3	<u>5</u>	6	8		程度Ⅳ	<u>l</u>	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	=1	程度V	Ţ	2	4	6	8	10	=1
	柱(	本数(面積)率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	本数(面積)率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	Z	無被害	0	0	0	0	0	0		無被害	0	0	0	0	0	0	
	は 耐	程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	=1/4\	程度I	0	0	1	1	1	2	=1(0)
12	b D	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1) B	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(2) C
	豐	程度皿	1	2	3	5	6	8	Б	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	
	15	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
	%	程度V	2	3	6	9	12	15	=1	程度V	2	3	6	9	12	15	=1
		<u>面積率</u> 無被害	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率無被害	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	屋	程度Ⅰ	0	0	0	0	0	0		程度I	0	0	0	0	0	0	
13	根	程度Ⅱ	0	0	1 2	2	3	2	計×(3)	程度Ⅱ	0	0	2	1	3	2	計×(4)
13	15	程度Ⅲ		2				8	B	程度Ⅲ		2	3			8	C (4)
	%	程度Ⅳ	1	2	3 5	5 7	6 9	11	2	程度Ⅳ	1	2	<u>ა</u>	5 7	6 9		
	,,	程度V	2			9	12	15		程度V	2		6	9	12	11 15	
		面積率	~10%	3 ~20%	6~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率	~10%	3 ~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	_	無被害	0	0	0	0	0	0	āl	無被害	0	0	0	0	0	0	āl
	天井	程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1		程度I	0	0	0	0	0	1	
14	升	程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	計×(1)	程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	計×(2)
74	5	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	В	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	C
	%	程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度V	1	1	2	3	4	5		程度V	1	1	2	3	4	5	
		枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	7,8	無被害	0	0	0	0	0	0	HI	無被害	0	0	0	0	0	0	н
	建具	程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2		程度I	0	0	1	1	1	2	
15	~	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(2)
	15	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	В	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
	%	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度V	2	3	6	9	12	15		程度V	2	3	6	9	12	15	
		,	階			傷の状		10		主要階/その他階		傷の状			6	10	計
	÷л.	W ==	主要階	1%. 画	2管のズ											<b>+</b> #	В
	設備	浴室 (3%以内)	・ その他階		ベスタブ				その他							主要階	
16	1/10	(070 K/N)	Cマノ I出P自	3%. 再	手使用が	不可能			(左記以外 の水回り、							PEI	
70	10	台所	主要階		ピ管のズ				へ、ランダ、等							その	С
	%	(3%以内)	・ その他階		手使用は 手使用が		が大きく	(破損	4%以内)							他階	
				J /0. f	アロル	- I · ™J HE											

(6) 住家被害認定調査票(地震-非木造第1次)

住	訓	披害認  査票		<b>調査票</b>							2	判定した化	主家の範	囲が分か	るように記	載		
	非	也震 木造 11次	番							配								
	調達	日 令	和	年		月		日	3	置业								
1	調査	ě時		:	~		:			状況								
	調査	ē A																
	所名																	
	世者																	
2	住		住家でお	5る(居住	のため	に使用さ	いれている	5)										
4	応急						こ記載されてい		メント等	を転割	2							
_	外												1	<b>该当</b>				
5	観	山往豸	(全部が	団張 又	は仕多	.0)一部0	)階が全部										_	
		測定筐	所 (	1 (	2 (	3 (	4) <del>1</del>	均值			AT		の平均値 合)以上	[カシ4cm(¯	下げ振り]	20cm		   判 (
	傾	水平	Ē							,	傾  斜	□(基礎	コルム どいを用	いる住	家につい	て)	いずれか	定性
6	斜	距離								7	確認				が振り1		に該当	^ <u>~</u>
		(cm)	,								BiC.		かいい エル・ 第出量30		<b>九</b> 下里又	.14		
	井	<b>梁</b> ロフ	ア 外組 目	視により	はマけ辺	を確認で:	きろ場合				, 外:	組目視に	上り柱及7	下辺を確	認できない	場合		
8	の						2設備等を	調査				外壁、12			10. 4.0.24	<i>&gt;,,,</i> L		
面積・:	本数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%		1	面積	責率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
9	無被害	0	0	0	0	0	0	※45%以上 で全壊	1	10	無被害	0	0	0	0	0	0	
柱	I	1	1	2	4	5	6				I	1	2	3	5	7	9	
<b>x</b>	_	-	-							外	_	-						1
は	I	2	3	6	9	12	15			壁	I	2	4	9	13	17	21	
梁	Ш	3	6	12	18	24	30			8	Ш	4	9	17	26	34	43	
6										5 %								<u> </u>
0	IV	5	9	18	27	36	45			70	IV	6	13	26	38	51	64	
<b>%</b> ∵	v	6	12	24	36	48	60				v	9	17	34	51	68	85	
面和	責率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	 1 [			設備	*	損傷(	の状況		損害割合	計
11	無被害	0	0	0	0	0	0		]	12								
雑	Ī	0	1	1	2	2	3					架水槽• 受水槽						
壁・	п	1	1	3	4	5	6			設備								1
仕上	ш	1	3	5	8	10	13		$\rightarrow$	等(	外	部階段						
<b>等</b> ~ 2										5								1
5 %	IV	2	4	8	11	15	19			% ∵	4	その他						
•	V	3	5	10	15	20	25		] [									
y .1=																		
【獲	吉	割合算					は梁を確	認できる		<u> </u>	1	İ		目視に	<u>より柱及</u>		認できた	
			6 傾斜	9 柱(又は		雑壁・ ±上等	12 設備等	<b></b>	計				6 傾斜		10 外壁	12 設備 <sup>4</sup>	等	計
	傾射							あ				傾斜無					う	
	傾		20					V)				傾斜有	20				え	

(注)「6傾斜」の平均	値が2cm未満の均	場合、「あ」又は	に「う」を、2cm	n以上の場合、	Γa5.	又は「い	」若しくは「う」	又は「え」のうち	大きい値を損害	割合とする。

	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
判定		□ 準半壊に至らない (一部損壊)	口 準半壊	□半壊	□ 中規模半壊	□ 大規模半壊	□全壊

(7) 住家被害認定調查票(地震-非木造第2次-1) 住家被害認定 いずれかに □住家全部が倒壊 3 □住家の一部の階が全部倒壊 該当 調査票 調査票 地震 番 4 非木造 1 2 3 平均值 判定へ(全壊 第2次−1 傾斜 4 調査日 令和 年 月 日 1 調査時 : : 調査員 いずれかに □傾斜の平均値が4cm(下げ振り120cmの 所在地 該当 場合)以上 □(基礎ぐいを用いる住家について) 該当しない場合は、 5 世帯主 傾斜の平均値が2cm(下げ振り120cmの 2頁「6」以降へ 場合)以上かつ最大沈下量又は最大 認 住 家 □住家である(居住のために使用されている) 2 露出量30㎝以上 ~10% | ~20% | ~40% | ~60% | ~80% | ~100% | 計 □鉄骨造の場合 □鉄筋コンクリートの場合 面積率 柱(本数で判定) 8 ▶・ラーメン構造の場合 柱が見えない場合 Ι 0 0 0 1 1 1 柱(本数で判定) 仕 Π 0 2 2 3 1 1 Ø 耐力壁(ブレース数で判定) Ξ ▶・壁式構造の場合 確認 耐力壁が見えない場合 Ш 1 1 2 3 4 耐力壁(面積で判定) 雑豐 IV 2 3 5 8 1 6 外部仕上げ(面積で判定) ٧ 2 面積率 ~10% ~20% ~40% ~60% ~80% ~100% 10% ~20% ~40% 60% ·80% ~100% 床計 無被害 0 0 0 0 0 9 0 0 0 0 10 0 0 床 0 0 0 1 0 0 0 1 1 Ι 1 1 Ι 部仕 梁 П 1 2 2 П 0 2 3 Ē Ш 1 1 3 4 5 Ш 1 1 3 4 5 天井 1 2 3 5 6 8 2 3 5 8 IV IV 1 6 1 2 4 6 8 10 ν 2 6 10 1 4 8 ~10% 損傷の状況 計 -20% ~40% ~60% ~80% ~100% 面積·本数率 設備 損害割合 浴室 0 2% バスタブの割れ等 3% 再使用が不可能 配管のズレ等 設 台 1% 2% 3% 配管のズレ等 再使用は可能だが大きく破損 再使用が不可能 Ι 1 1 2 3 4 5 所 又は耐力壁)  ${\rm I\hspace{-.1em}I}$ 1 3 5 8 10 13 住家内 Ш 3 5 10 15 20 25 ത IV 4 8 15 23 30 38 他 v 5 10 20 30 50 50% 枚数率 10% 20% ~40% 60% **~**80% **~**100% 計 設備 損傷の状況 損害割合 計 0 0 0 0 13 14 高架水槽 害 設備等 •受水槽 0 Ι 1 0 0 1 1 1 Π 外部階段 住家 2 Ш 0 1 1 2 3 外 5% ΤV 0 1 2 2 3 4 その他 ٧ 1 1 2 3 4 5 【損害割合 8外部仕上 9内部仕上・ 4傾斜 13建具 計 (又は耐力壁) ・雑壁・屋根 (住家内) 算出表】 ※大きい方 あ 傾斜無 傾斜有 (注)「4傾斜」の平均値が2cm未満の場合「あ」を、2cm以上の場合「あ」又は「い」のうち大きい値を撮害割合とする

	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
判定		□ 準半壊に至らない (一部損壊)	口 準半壊	半壊	口 中規模半壊	口 大規模半壊	全壊

(8) 住家被害認定調査票(地震-非木造第2次-2) 住家被害認定 調査票 ( ) 階平面図 調査票 番 号 地震 非木造 第2次-2 6

### (9) 住家被害認定調査票(水害-木造・プレハブ第1次A(外壁及び建具の破壊あり))

木第及 1	調査 水プトンフェン・ は次型・シー・ はないではあり、	を レハブ (外壁 (外破 の) 令和	<b>調査票</b> 号	~	月	:	В	配置状况	別定した化	主家の範囲が	· ·	うに記載	
Ī	外観	口住家 口住家 口一見	である(居 全部が倒! の一部の[ して住家 を をいずれが	懐 階が全音 全部が流	『倒壊			下の地盤が	流出・「	<b></b>	l	いずれかに該当	□判定へ (全壊)
5	<b>港</b> 浩	口未造	・プレハブ	である							١	該当しない 項目がある	
6		□住家 □津波 破壊 が 50	が戸建ての や河川の されている	D1〜2『 氾濫に作 (「外壁	#う水i 」及び	流やがれ 「建具」	のそれぞ	突等により れ1箇所ら 傷を除く。)	上に損	傷程度		5]~[7]すべ	本調査票以外 の適切な調査 票を利用
8	浸水深	Ę											
				浸水理 床上1.8m			-	<b>の浸水</b> 分で測定)		の損害 60%以上		全壊	
				浸水深 床上1.0m		.8m <i>ā</i>	1m以 <b>た満の</b> <sup>も浅い部</sup>			の損害 0%以上		大規模半壊	
				表示 (東上0.5m	-	lm未	0.5mじ :満のえ <sub>も浅い部</sub>			の損害 0%以上		中規模半壊	
				- 浸水屋 床上浸水				の浸水 <sub>分で測定)</sub>		の損害 0%以上		半壊	
				浸水深	(浸水		下浸水 も浅い部	く 分で測定)	-	の損害 0%未満		準半壊に 至らない (一部損壊)	
			損害割	合		10%5		20%以	上	30%以	上	40%以上	50%以上
半	定				ž	□		구 년 -		山田村		★押樽半棒	ロ 全棒

#### (10) 住家被害認定調査票(水害-木造・プレハブーサンプル調査A(その1))

住家被害認定 調査票 水害 <sub>木造・ブレハブ</sub>	調査票番号					に伴う	水	調査(戸建て1〜2階建てで津 流やがれきの衝突等により外壁 る場合)	
サンプル調査A (その1)						2 佳	家	□区域内に住家がある (居住のために使用されている)	「2」~「4」に該 当しない 項目がある
調査日令和調査時	:	~	月	:	日	3 構	造	□2のうち、木造・プレハブの住家 がある	サンプル調査を行う
調査員 1 所在地						4 階	高	□3のうち、木造・プレハブの戸建 ての1~2階建ての住家がある	には不適 当であり、 区域を見 直す又は
世帯主						5 外	ъ	□4の住家について津波や河川の 氾濫に伴う水流やがれきの衝突 等により外壁及び建具が破壊さ れている(「外壁」及び「建具」の それぞれ1箇所以上に損傷程度	サンブル
					_			が50~100%(程度Ⅲ~Vで、 浸水による損傷を除く。)に該当 する損傷が発生) 「2」~「5」すべてに該	調査Bを検討する。

#### 6 区域図

サンプル調査を行う区域の図面を添付。図面ではすべての住家の住棟の形と地形が明確であることサンプル調査を行った四隅の住家について、それぞれA,B,C,Dのマークを施し、「その2」の調査票で調査結果を記載すること。

	反は中にかけて十生・ゴルッゴの	50%以上
判定	区域内における木造・プレハブの 戸建ての1~2階建てのすべての住家 <sup>※</sup>	
	戸廷(の1~2階廷(のすへ(の任家…	全博

※区域内の木造・プレハブの戸建ての1~2階建ての住家以外の住家については、別途個別に調査を行う。

(11) 住家被害認定調査票(水害-木造・プレハブーサンプル調査A(その2))

	で被害認定 調査票 水害 透・プレハブ 調査票 番 号	氾濫に伴	調査(戸建て1〜2 う水流やがれきの種 されている場合)	・階建てで津波 「突等により外	₹や河川の ・壁及び建
	プル調査A (その2)				
6	サンプル調査結果				
A	男女展 非上16%	床上1.8m以上の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 50%以上	全壊	
	上記に該当しない(床上1.8m)	未満の浸水)			
В	男女服 第主15m	床上1.8m以上の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 50%以上	全壊	
	上記に該当しない(床上1.8m)	未満の浸水)			
С	男大原 非上18小	床上1.8m以上の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 50%以上	全壊	
	上記に該当しない(床上1.8m2	未満の浸水)			
D	元太保 年上13m	床上1.8m以上の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 50%以上	全壊	

上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)

### (12) 住家被害認定調査票(水害-木造・プレハブ-第1次B(外壁及び建具の破壊なし))

木第	調 が 造りな 壊	査 はプロリカー	語	配置状			
	調査	日	令和 年	月 日 況			
1	調査	È時	: ~	:			
	調査	頁					
	所在	E地		_			
	世帯	-     					
2	住	豖	□住家である(居住のた)	めに使用されている)			
4	外	観	□住家全部が倒壊 □住家の一部の階が全部 □一見して住家全部が活 □基礎のいずれかの辺が		ぶ流出・陥没	いずれかに該当	□判定へ ・(全壊)
5	構	造	□木造・プレハブである		)	該当しない	
			 □住家が戸建ての1~2『			項目がある	•
	外		□津波や河川の氾濫に作が破壊されているとは 程度が50~100%(程度 る損傷が発生、又はい	ずれかに損傷		本調査票以外 の適切な調査 票を利用	
0	浸力	ישט ע				*	
o	汉力	林					
			527 B218	床上1.8m以上	住家の損害割 40%以上	合  大規模半均	· ************************************
			2.5% (F.110s)	床上1m以上 1.8m未満の浸水	住家の損害割 30%以上	合  中規模半均	<b>.</b>
			RAD RADIN	床上0.1m以上 1m未満の浸水	住家の損害割 20%以上	合 半壊	
			是为2 在上来不	床上0.1m未満の浸水	住家の損害割 10%以上	合 準半壊	
			是为2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.	床下浸水	住家の損害割 10%未満	準半壊に 全らない (一部損壊	·

	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上
判定		□ 準半壊に至らない (一部損壊)	口 準半壊	□ 半壊	□ 中規模半壊	□ 大規模半壊

#### (13) 住家被害認定調査票(水害-木造・プレハブーサンプル調査B(その1))

住家被害認定 調査票 水害 木造・プレハブ	調査票番号				に伴う	水	調査(戸建て1〜2階建てで津 流やがれきの衝突等により外壁 ない場合)		
サンプル調査B (その1)					2 佳	家	□区域内に住家がある (居住のために使用されている)。	「2」〜 当しな 項目が	
調査日令和調査時	年:	~	月 :	日	3 構	造	□2のうち、木造・プレハブの住家 がある		サンプル 調査を行 うには不
調査員 1 所在地					4 階	高	□3のうち、木造・プレハブの戸建 ての1~2階建ての住家がある		通当であり、区域を見直す と見直側別
世帯主					5 外	ħ	□4の住家について津波や河川の 氾濫に伴う水流やがれきの衝突 等によりが外壁及び建具が破壊 されているとはいえない(「外壁」 又は「建具」のいずれかに損傷 程度が50~100%(程度Ⅲ~V で、浸水による損傷を除く。) に 該当する損傷が発生、又はいず れにも発生していない)	「5」に 該当し ない	に調査を 行う。 サンプル 調査を 検討す る。
							「2」~「5」すべてに割	<u>*</u>	
6 区域図									

サンプル調査を行う区域の図面を添付。図面ではすべての住家の住棟の形と地形が明確であること サンプル調査を行った四隅の住家について、それぞれA,B,C,Dのマークを施し、「その2」の調査票で調査結果 を記載すること。

	反射カルヤルチャナ プロ・データ	40%以上
判定	区域内における木造・プレハブの 戸建ての1~2階建てのすべての住家 <sup>※</sup>	П
TJÆ	古建ての1~9階建てのオベての仕室 <sup>※</sup>	
	万姓(の)・2間姓(のりへ(の圧豕	大規模坐博

※区域内の木造・プレハブの戸建ての1~2階建ての住家以外の住家については、別途個別に調査を行う。

(14) 住家被害認定調査票(水害-木造・プレハブーサンプル調査B(その2))

住家被害認定 調査票 水害 木造・プレハブ	調査票番号	サンプル調査(戸建て1~2階建てで津波や河川の 氾濫に伴う水流やがれきの衝突等により外壁及び建 具が破壊されていない場合)
サンプル調査B (その2)		

	(その2)				
6	サンプル調査結果				
A	及大深 在上1.5	床上1.8m以上の浸水	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	
	上記に該当しない(床上1.8m)	- 未満の浸水)			
В	MAR Eliz	床上1.8m以上の浸水	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	
	上記に該当しない(床上1.8m)	<b>未満の浸水</b> )			
С	第九录 在上1.5	床上1.8m以上の浸水	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	
	上記に該当しない(床上1.8m)	<b>未満の浸水</b> )			
D	R.L.1.5	床上1.8m以上の浸水	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	
	上記に該当しない(床上1.8m)	<b>未満の浸水</b> )			

### (15) 住家被害認定調査票(水害-木造・プレハブ-第2次A-1)

1	<b>送第 調調調所世</b>	かった 全 査 査 在 帯	き レハブ A-1 令和	<b>調査票番号</b> 年:	~	月	日 :	の衝突等	により外 の1~2	壁及で 階建で	び建具が破でない場合	川の氾濫に伴う : 壊されている場合 るように記載	
4	傾斜		箇所 平離	主家全部が 主家の一部 一見して住家 基礎のいず ①	の階が全 家全部が	充失	(多) (3)	直下の地 <u>を</u>	盤が流り		没 均値	いずれかに該当 6cm以上 (下げ振り 120cmの場合)	□判定へ (全壊)
6	基	<b>躯体</b>		0%	~10%	~20%	傷率が75%	~60%	~74		計	損傷率 75%以上	□判定へ (全壊)
7	一破	汚	割合 損害 割合	0 0	1	2	4 (口床下に汚》	6 Pが堆積し	7 ている。			「8」以降	<u>~</u>
<b>二</b>	■ 『 <sup>『『『『『『『』</sup> 『損害割合算出表』											<u> 五入した値を記<i>】</i></u> が2cm以上の場合	
	損害制管昇出表』 a b						d		е		f	g	h (□傾斜が
		8位	構成	階別部	位別損害	割合	部位別 損害割合		階別重			重み付き 損害割合	2cm以上) 傾斜を考慮し
	"	111	比	主要階	7	の他階	投口的口	主	要階			e+f	た損害割合 あ>い→d
				В**		c <sub>*</sub>	b+c	b×	1.25	1	c×0.5	(e+f>a→ a)	あ≦い→g
10	Þ	壁	10										
11	<b>戊</b>	壁	10										
12		床	10										
7		段合)	10	[-2 +++++	12 about 6								
				「7.基礎」の	/	-	11%以上で全壊						
13	耐	(又は カ <u>壁</u> )	15					_					
14	唇	根	15										
15	<b>天</b>	井	5										
16	廹	具	15										
17	討	備	10										
	*	B及で	JCは、調	→  査票3頁のB』	及びCの値と	する。	1				が2cm以 「い」又は		15%
						計	あ	「う」)		長大の	値を住家	い	う
			損	害割合	10%:	未満	10%以上	20%	以上	30	)%以上	40%以上	50%以上
													1

(16) 住家被害認定調査票(水害-木造・プレハブ-第2次A-2)

調査票					=	本	<b>#</b>									-	土多	首当	•	~	V.)11	비	Ī	
木	造 第2	k ! プ 次	₹ レハ Q-2	.ブ 2	番	<b>有</b>	号								(			) 階	平同	面図	•	屋村	退伏	[図
						-								 	 									
						-		 	 	 		 	 	 	 									
8										 			 											
						-		 	 	 	 	 	 	 	 									
						-																		
						-				 														
						-		 	 	 	 	 	 	 	 									
	~~~			_				 	 	 	 	 	 	 	 									
						-		 	 	 	 	 	 	 	 									L

### (17) 住家被害認定調査票(水害-木造・プレハブ-第2次A-3)

		害認定				/ N.C.				]			<b>亚</b> 0比	_	7.0/1	L 171-14	=1
		<b></b> 查票										(1)	要階	(2	<u>その他</u> )	凹陷	計
				生票						面	床	(1)		(2	,		1.0
4		<b>害</b> プレ・ハ →	番	号						9 積		(3)		(4	)		
		プレハブ 欠A-3								率	屋根	(0)		(1	)		1.0
	E (-X	λΛ <b>U</b>															
		<b>=</b> 4± ±				要階			=1	面積率				)他階	_		=1
		面積率 無被害	~10% O	~20% O	~40% O	~60% O	~80%	~100% O	計	無被害	~10% O	~20% O	~ <sub>40%</sub>	~ <sub>60%</sub>	~80% 0	~100% O	計
	外壁	程度I	0	0	0	1	1	1		程度I	0	0	0	1	1	1	
10	_	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2)
	10	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	В	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	С
	%	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度V	1 ~10%	2 ~20%	4 ~40%	6 ~60%	8 ~80%	10 ~100%	計	程度V	1 ~10%	2 ~20%	4 ~40%	6 ~60%	8 ~80%	10 ~100%	計
	_	無被害	0	0	0	0	0	0	ĒΤ	無被害	0	0	0	0	0	0	ĒΤ
	内壁	程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1		程度I	0	0	0	1	1	1	
11	_	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2)
	10	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	В	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	С
	%	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
	床	程度 V 面積率	1 ~10%	2 ~20%	4 ~40%	6 ~60%	8 ~80%	10 ~100%	計	程度V	210%	2 ~20%	4~40%	6 ~60%	8 ~80%	10	計
	床	無被害	0	0	0	0	0	0	āl	無被害	~10% O	0	0	0	0	0	āl
	階段	程度I	0	0	0	1	1	1		程度I	0	0	0	1	1	1	
12	食	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2)
	)	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	В	程度Ⅲ	11	1	2	3	4	5	С
	10	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		程度Ⅳ	_ 1	2	3	5	6	8	
	4	程度 V	1 ~10%	2 ~20%	4 ~40%	6 ~60%	8 ~80%	10 ~100%	計	程度 V	1 ~10%	2 ~20%	4~40%	6 ~60%	8 ~80%	10 ~100%	計
	^	無被害	0	0	0	0	0	0	āl	無被害	0	0	0	0	0	0	āl
	又は	程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2		程度 I	0	0	1	1	1	2	
13	耐力	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(2)
	豐	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	В	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	С
	15	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
	%	程度 V 面積率	2 ~10%	3 ~20%	6 ~40%	9 ~60%	12 ~80%	15 ~100%	計	程度V	2 ~10%	3 ~20%	6~40%	9 ~60%	12	15 ~100%	計
	屋	無被害	0	0	0	0	0	0	pl pl	無被害	0	0	0	0	0	0	П
	根	程度I	0	0	1	1	1	2		程度 I	0	0	1	1	1	2	
14		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(3)	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(4)
	15	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	В	程度皿	_1	2	3	5	6	8	С
	%	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度 V 面積率	2 ~10%	3 ~20%	6 ~40%	9 ~60%	12 ~80%	15 ~100%	計	程度V	2 ~10%	3 ~20%	6~40%	9 ~60%	12 ~80%	15 ~100%	計
	天	無被害	0	0	0	0	0	0	BI	無被害	0	0	0	0	0	0	П
	井	程度I	0	0	0	0	0	1		程度 I	0	0	0	0	0	1	
15		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	計×(1)	程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	計×(2)
	5 %	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	В	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	С
	70	程度IV 程度V	1	1	2	3	3	4 5		程度Ⅳ 程度V	<u>0</u> 1	1	2	3	3 4	4 5	
		枚数率	<b>⊥</b>	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	建	無被害	0	0	0	0	0	0		無被害	0	0	0	0	0	0	
	具	程度I	0	0	1	1	1	2		程度I	0	0	1	1	1	2	
16		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(2)
	15 %	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	В	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	С
	/3	程度IV 程度V	1 2	2 3	5 <b>6</b>	7 9	9 12	11 15		程度Ⅳ 程度V	<sup>1</sup>	2 <b>3</b>	5 <b>6</b>	7 9	9 12	11 15	
		王/又 V	階			傷の状		10		主要階/その他階		傷の状		_	6 6	10	計
	記	<b>※</b> 中	主要階		2管のズ	`レ等			اللجوا					/		十曲	В
	設備	浴室 (3%以内)	その他階		ベスタブの 手使用が				その他 (左記以外							主要階	
17									の水回り、								C
	10	台所	主要階・		己管のズ 手使用は		が大き	く破損	ベランダ等 4%以内)							その	С
	%	(3%以内)	その他階	3%. 푣				,	T/01/2017)							他階	

(18) 住家被害認定調査票 (水害-木造・プレハブ-第2次B-1)

住木	家 送第 調調調	被害 水デン次 日 時 員	<b>喜認定</b> 票 レハブ B-1	調査票番号	<u>青</u> 一小垣・ノ	が	れきの衝9 合 ■   ■   判別 <b>配</b>	~2階建 と等に。		P河川の氾濫に が建具が破壊さ るように記載	
	世	在地 帯主									
4	住	外観		生家全部が作 住家の一部の	Eのために使用さ 到壊 D階が全部倒壊 R全部が流失	れている)				いずれかに該当	f I
5	傾斜	i ×	箇所 平 離	基礎のいずね <u>①</u>	1かの辺が全部破 <b>②</b>	③ 3	下の地 <u>盤</u> が <b>④</b>		平均値	6cm以上 (下げ振り 120cmの場合)	□判定へ (全壊)
6		躯体		柱(又は耐力	壁)又は基礎の損	員傷率が75%以	人上である			損傷率 75%以上	□判定へ (全壊)
7	基礎	力等	損傷 率 損害 割合	0% ^	-10% ~20% 1 2	~40% 4	<b>~60%</b>	~74% 7	計	F	
	TQT	汚	損害 割合	0	1	(口床下に汚泥)	が堆積してい	る。)		「8」以際	<u>*^</u>
[ ŧ	員	害割	合算					(注)	<u>h列は、傾斜</u>	五入した値を記え が2cm以上の場合	のみ記入する。
			a	b 階別部	位別損害割合	部位別	e 階:	別重み	f 付け	重み付き	<u>h</u> (□傾斜が 2cm以上)
	÷	<b>B位</b>	構成比	主要階	その他階	損害割合	主要降	Ė	その他階	損害割合	傾斜を考慮し た損害割合
				в*	C**	b+c	b×1.2	5	c×0.5	e+f (e+f>a→ a)	あ>い→d あ≦い→g
10	夕	壁	10								
11	内	9壁	10								
12		<b>床</b> (政合)	10								
7	基	礎	10	「7.基礎」の	損害割合		•				
13	柱前	(又は カ壁)	15			11%以上で全線					
14	唇	醒	15								
15	<b>天</b>	#	5								
16	廹	具	15								
17	討	<b>よ備</b>	10								
	*	B及で	プCは、i	□  査票3頁のB】	とびCの値とする。	1			斜が2cm以 J、「い」又は		15%
					計	あ		で最大	の値を住家	V \	う
			損	害割合	10%未満	10%以上	20%以.	Ł	30%以上	40%以上	50%以上
4	判	Ē			□ 準半壊に至らない (一発損棟)	口 準半壊	口 半壊	4	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	□ 大規模半壊	口 全壊

(19) 住家被害認定調査票(水害-木造・プレハブ-第2次B-2) 住家被害認定 主要階 ・ その他階 調査票 番 号 ( ) 階平面図 ・ 屋根伏図 木造・プレハブ 第2次B-2 8

# (20) 住家被害認定調査票 (水害-木造・プレハブ-第2次B-3)

住	家被	生言認定				/ N.C.						-	- 邢 ル		7.04	ь 17£6	<del>=</del> ⊥
		査票										(1)	要階	(2	<u>その他</u> )	凹陷	計
		k害	調子番	を票 号						面	床	(1)			,		1.0
木		ヽ <del>゠</del> プレハブ		7						9 積率		(3)		(4	)		1.0
		次B−3									屋根						1.0
					主	要階							その	つ他階			
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	外	無被害	0	0	0	0	0	0		無被害	0	0	0	0	0	0	
10	壁	程度 I 程度 I	0	0	0	2	2	3	計×(1)	程度 I 程度 II	0	0	0	2	2	3	計×(2)
10	10	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	В	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
	%	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度V	1	2	4	6	8	10		程度V	1	2	4	6	8	10	
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	内	無被害 程度 I	0	0	0	1	1	<u>0</u>		無被害 程度 I	0	0	0	<u>0</u>	<u>0</u>	1	
11	壁	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2)
	10	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	В	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	С
	%	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度V	1	2	4	6	8	10		程度V	1	2	4	6	8	10	
	床	面積率 無被害	~10% O	~20% O	~40% O	~ <sub>60%</sub>	~80%	~100% O	計	面積率 無被害	~10% O	~20% O	~ <sub>40%</sub>	~ <sub>60%</sub>	~80% O	~100% O	計
	階	程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1		程度I	0	0	0	1	1	1	
12	段含	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2)
	J	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	В	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	С
	10	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
	<u>%</u>	程度V	1	2	4	6	8	10	=1.	程度V	1	2	4	6	8	10	=L
	柱へ	無被害	0	~20% O	~40% O	~60% O	~80% O	~100% O	計	本数(面積)率 無被害	~10% O	~20% <b>0</b>	0	~60% O	~80%	~100% O	計
	<b>又</b> は	程度I	0	0	1	1	1	2		程度I	0	0	1	1	1	2	
13	耐力	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(2)
	豐	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	В	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	С
	15	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11		程度Ⅳ 程度V	1	2	5	7	9	11	
	<u>%</u>	程度V 面積率	2 ~10%	3 ~20%	6 ~40%	9 ~60%	12 ~80%	15 ~100%	計	面積率	2 ~10%	3 ~20%	6 ~40%	9 ~60%	12 ~80%	15 ~100%	計
	屋	無被害	0	0	0	0	0	0	PI PI	無被害	0	0	0	0	0	0	П
	根	程度I	0	0	1	1	1	2		程度 I	0	0	1	1	1	2	
14		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(3)	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(4)
	15 %	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	В	程度Ⅲ程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	С
	~	程度V	2	3	5 6	7 9	9	11 15		程度V	2	3	5 6	7 9	9	11 15	
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	天	無被害	0	0	0	0	0	0		無被害	0	0	0	0	0	0	
	井	程度I	0	0	0	0	0	1	=1(1)	程度I	0	0	0	0	0	1	=1 (2)
15	5	程度Ⅱ程度Ⅲ	0	0	1	2	2	3	計×(1) B	程度Ⅱ程度Ⅲ	0	0	1	2	2	3	計×(2) C
	%	程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	٦	程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度V	1	1	2	3	4	5		程度V	1	1	2	3	4	5	
		枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	建	無被害	0	0	0	0	0	0		無被害	0	0	0	0	0	0	
1.0	具	程度 I 程度 II	0	1	1 2	2	3	4	計×(1)	程度 I 程度 II	0	1	<u>1</u>	<u>1</u>	3	4	計×(2)
16	15	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
	%	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度V	2	3	6	9	12	15		程度V	2	3	6	9	12	15	
			階			傷の状	況			主要階/その他階	損	傷の状	況	9	6		計
	設	浴室	主要階・		己管のズ ヾスタブ		等		その他							主要	В
4.7	備	(3%以内)	その他階		手使用が				(左記以外							階	
17	10	台所	主要階		2管のズ			hand to:	の水回り、 ベランダ等							その	С
	%	(3%以内)			写使用は 写使用が			〈破損	4%以内)							他階	
					, ,,,,,	. , ,,,,				<u> </u>	<u> </u>			l			

# (21) 住家被害認定調査票(水害-非木造-1)

¥	判定		損害害		20 準半場	%未満 口 (に至らな ・部損壊)	1 IV	0%以_ 口 準半壊	<u>E</u>	20	0%以上 □ 半壊	30%	<u>以上</u> ] 莫半壊	40%	<u>以上</u> ] (美半壊	50%	<u>以上</u> ] 壊
	4		(注)		」の平均	  値が2c	m未満の	場合「あ	」 」を、2	cm.	以上の場合	「あ」又(	は「い」の	  うち大き		員害割合	とする。
	傾斜		20												l)		
	算出傾斜	表】	5傾斜		推壁・屋根	天井		大きい方	(又はi				14建具	(住家外		計	
	損害	<b>評割合</b>		9:	外部仕上	10内部位	土上・ 1	11床・梁	12	2柱	13設備	等	1 / 24 日	15設備	等	-J	
			•	•	•	•	•	•	5	5%	その他						1
5%	v	1	1	2	3	4	5			(住家外)	外部階段						]
	IV	0	1	2	2	3	4			投機等	高架水槽						
	ш	0	1	1	2	2	3			15	設備		損傷(	の状況		損害割合	計
*	п	0	0	1	1	1	1		1	1004	・の他 4%						]
建具	I	0	0	0	0	0	1			大住駅内)	台 1% 所 配管のズL		2% は可能だが大	きく破損 再使	3% 見用が不可能		]
14	無被害	0	0	0	0	0	0			股	浴 1% 室 配管のズレ	·等 バ	2% スタブ の割れ	等 再使	3% 用が不可能		
	数率	~10%						計		13 1	<b>设備</b>		損傷の状況		l	損害割合	計
10%	<u> </u>	1	2	4	6	8	10		5	H	<b>V</b> 5	10	20	30	40	50	1
	IV	1	2	3	5	6	8	で全線		<u>.</u>	IV 4	8	15	23	30	38	1
	ш	1	1	2	3	4	5	梁計 ※8%以上	i li	耐	<b>II</b> 3	5	10	15	20	25	1
· 梁	п	0	1	1	2	2	3	em. z i		ᅙ	II 1	3	5	8	10	13	1
床	I	0	0	0	1	1	1	_		±	<b>I</b> 1	1	2	3	4	5	で全譲
11	無被害	0	0	0	<b>~60%</b>	0	0	休計	1	_	無被	0	0	<b>~60%</b>	<b>~80%</b>	<b>~100%</b> 0	※38%以上
10%		1 ~10%	2 ~20%	4 ~40%	6 ~60%	8 ~80%	10 ~100%	床計	<u> </u>	10% i積·本	V 1 数率 ~10%	2 ~20%	4 ~40%	6 ~60%	8 ~80%	10 ~100%	計
機	IV	1	2	3	5	6	8	1		"  -	IV 1	2	3	5	6	8	-
雅	Ш	1	1	2	3	4	5	1		<b>₹</b>	<b>II</b> 1	1	2	3	4	5	-
	П —	0	1	1	2	2	3			ᆂ┝	<b>I</b> 0	1	1	2	2	3	-
部仕	I	0	0	0	1	1	1		1	部	I 0	0	0	1	1	1	
9 外	害	0	0	0	0	0	0			-	害	0	0	0	0	0	-
	責率 無被		~20%					計		面積率	m 1dr				~80%		計
	認	の場	合)以上 は最大調	4cm未清	あかつ最	大沈下		該当しない	,			[8∣C]∰					
6	傾斜確	の場 □(基研	の平均( 合)以上	用いる自	E家につ	いて)				7	の   耐力質 確   耐力	壁が見え	ス <b>数で判</b> 続ない場合 ない場合			<b>〈構造の場</b> 力壁(面和	
5	傾斜	1	2	3	4	平均	恒	いずれかに該当		_	柱(本	<b>数で判定</b> 見えない	)		<b>→</b> ・ラー	メン構造(本数で判	の場合
-	観		の一部の					全壊)	] [		口丝母	造の場合			- Arr-us , in	リートの場	
4	外	□住家	全部が	到壊			<u> </u>	判定へ									
2	住	<b>夢主</b> □ (	主家であ	る(居住	のために	使用され	ている)										
	所名																
	調子	E A															
1	調3	上時		:	~		:			況							
	調査	<b>隆日</b> 令表	和	年		月		日		配置伏							
		水害 木造-1	番						ļ								
住		坡害認  査票		查票					ı								
											■判定した	主家の範	囲が分か	るように記	載		

(22) 住家被害認定調査票(水害-非木造-2) 住家被害認定 調査票 ( ) 階平面図 調査票 番 号 水害 非木造−2 8

# (23) 住家被害認定調査票 (風害-木造・プレハブ-1)

	家被害 調査: 風害 造・プ -1	票 F	調査票番号	-			配	削定した住家	の範囲が分かる	5ように記載	
	調査日調査時調査員所在地		:	年 ~		:	3 状				
2					りに使用されて		day froi (-t-			]該当	
4	外観	箇所	主家全部	が倒壊	又は 住家の ②	一部の階が全	部倒壊 <b>④</b>		平均値	]	口判定へ
5	傾 水	平	· ·				₩			6cm以上 (下げ振り120cm の場合)	(今悔)
6	■機□	屋根等に	_脱落、破	な損等の排	員傷が生じて:	おらず、住家P	内への浸水	くのおそれ	がない	該当	口判定へ (準半壊に至らない
_	躯一一	± rbb ¬ .	1.44/77.11	オレー 中か	010/E = 1/10	=0/DLI	7			」 ]損傷率	(一部損壊))
7	体	去碇又に <b>損傷</b> 3		- M 刀壁) 	の損傷率か7 	5%以上である	~40%	~60%	~74%	75%以上	(全壊)
8	基	損害割		0	1	2	4	6	7	「9」以降へ	
	(曜							/ 8 <del>1</del> -1	4 70/ch mi	」 舎五入した値を記。	1 + 2
【抽	害割	合算と	出表】 b	-	С	d	<del>.</del>	•		が2cm以上の場合	
		а		部位別担		-		階別重み		g	(□傾斜が2cm
	部位	構成比	主要		その他階	部位別 損害割合	主要		その他階	重み付き 損害割合	以上) 傾斜を考慮し た損害割合
			В	*	c*	b+c	b×	1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→ a)	あ>い→d あ≦い→g
11	外壁	10									
12	内壁	10									
13	床 (階段含)	10									
8	基礎	10	「8.基礎	」の損害	割合						
14	柱(又は 耐力量)	15				11%以上で全壊					
	屋根	15									
	天井	5		***************************************							
17	建具	15		***************************************							
18	設備	10									
	W D Th 7	l びCは、調	<u></u> 査票3頁の	B T CO	値とする		[#.171	ま[いいを	料が2cm以上		15%
	X DX			DX 0.003	IEC 7 '0'。						
	ж <b>Б</b> Д(				計	あ	ー の場合( 「う」)の	は、「あ」、「		<i>V</i> '	j
	ж БДС		書割合			あ 10%以上	ー の場合( 「う」)の	は、「あ」、「 中で最大 <i>の</i> 合とする。	い」又は	40%以上	

(24) 住家被害認定調査票 (風害-木造・プレハブ-2)

住	家 調	玻 <b>浸</b>  査	<b>子認</b> 票	定												-	主要	肾		そ	の他	也階		
木	造	虱! • プ	レハ	ブ	퐡	<b>首</b>	号								(			) 階	华正	国図	•	屋村	退伏	図
	_	-2																			}			
						-							 											
9													 											
						-		 	 ~~~~	 	 	 	 	 	 									
						-		 	 	 		 	 	 	 									
						-		 	 	 			 	 	 									

# (25) 住家被害認定調査票 (風害-木造・プレハブ-3)

		書認正	则宜.	示 (25	<u>一</u> 一	小炬	· /		) -3) 	1							
住		害認定										É	要階		その他	也階	計
	調	査票										(1)		(2	)		
				1票						面	床	`					1.0
		見 プレハゴ	番	号						10 積		(2)		(4)	١		
小		プレハブ								率	屋根	(3)		(4)	)		1.0
		-3															
					主!	要階							その	つ他階			
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	外	無被害	0	0	0	0	0	0		無被害	0	0	0	0	0	0	
	壁	程度I	0	0	0	1	1	1		程度I	0	0	0	1	1	1	
11		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2)
	10	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	В	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	С
	%	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度V	1	2	4	6	8	10	_,	程度V	1	2	4	6	8	10	
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	内	無被害	0	0	0	0	0	0		無被害	0	0	0	0	0	0	
	壁	程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	=L v (1)	程度 Ⅱ 程度 Ⅲ	0	0	0	1	1	1	=1 × (0)
12	10	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3 5	計×(1) B	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	計×(2) C
	%	程度IV	1	1 2	2	3 5	4		2	程度Ⅳ	1	1 2	3	3	4	5	
	'	程度V	1	2	3	6 6	6 8	10		程度V	1 1	2	4	5 6	6 8	8	
	床	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0		無被害	0	0	0	0	0	0	
	階	程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1		程度I	0	0	0	1	1	1	
13	段合	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	В	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	С
	10	程度IV	1	2	3	5	6	8		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
	%	程度V	1	2	4	6	8	10		程度V	1	2	4	6	8	10	
	柱	本数(面積)率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	本数(面積)率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	Ç Z	無被害	0	0	0	0	0	0		無被害	0	0	0	0	0	0	
	は	程度I	0	0	1	1	1	2		程度I	0	0	1	1	1	2	
14	耐力	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(2)
	豐	程度皿	1	2	3	5	6	8	В	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	С
	15	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
	%	程度V	2	3	6	9	12	15		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	屋	無被害	0	0	0	0	0	0		無被害 程度 I	0	0	0	0	0	0	
4.5	根	程度 I 程度 II	0	0	2	1 2	1	2	計×(3)	程度Ⅱ	0	0	1	2	3	2	計×(4)
15	15	程度Ⅲ	0	2	3	5	3 6	8	B	程度Ⅲ	1	2	3	5	<u>ა</u>	4 8	C
	%	程度Ⅳ	1	2	<u>5</u>	7	9	11		程度Ⅳ	1	2	<u>5</u>	7	9	11	
		程度V	2	3	6	9	12	15		程度V	2	3	6	9	12	15	
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	天	無被害	0	0	0	0	0	0	BI	無被害	0	0	0	0	0	0	
	天   井	程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1		程度I	0	0	0	0	0	1	
16		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	計×(1)	程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	計×(2)
	5	程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	В	程度皿	0	1	1	2	2	3	С
	%	程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度V	1	1	2	3	4	5		程度V	1	1	2	3	4	5	
		枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
	建	無被害	0	0	0	0	0	0		無被害	0	0	0	0	0	0	
	具	程度I	0	0	1	1	1	2		程度I	0	0	1	1	1	2	
17		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1)	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(2) C
	15	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	В	程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	
	%	程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15		程度V	2	3 クル	6	9	12	15	計
			<b>階</b>	10/2 画	<u>損</u> 2管のズ	<b>傷の状</b> レ築	が、			主要階/その他階	損	傷の状	,沅	9	0		<b>ā†</b> B
	設	浴室	主要階			レ寺 の割れ	等		その他							主要	
	備	(3%以内)	その他階			不可能			(左記以外							階	
18	10	/: =	主要階	1%. 酉	2管のズ	ン等			の水回り、							7.0	С
	10   %	台所 (3%以内)	その他階	2%. 再	好用は	可能だ	が大きく	(破損	4%以内)							その他階	
		(5/00/21/1/	C マノ I出P自	3%. 再	使用が	不可能										IC/H	

# (26) 住家被害認定調査票(風害-非木造-1)

	調	<b>E</b>	<b>調</b> <b>省</b>	年: る(居住に) 到壊			<u>≝</u> □	判定へ	3 判 5	己星长己	の損傷生	部仕上げ等に に、住家内へ	c脱落·破損	等の損傷が れがある。	<b> 骸当なし</b> 	(一部損場	定へ 第10%未満)
	杯	1	2	3	4	平均值	直(下	n以上 げ振り120cm 場合)		横造	[   柱(本勢	<b>宣の場合</b> <b>女で判定)</b> 見えないす	易合		▶・ラー	フリートの場 シレ構造の は数で判定	場合
5	傾斜						摄 经	n以上4cm未満 120cmの場合 は外観に外力に あり	1)	の確認		プレース 壁が見え 上げ(面積 「8」以降	ない場合 で判定)	) <u>'</u>		構造の場 力壁(面積	_
面積	<b>事</b> (数	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	=1		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	→   =1
9	無被害	0	0	0	0	0	0	計	10	4= 2	eg O	0	0	0	0	0	計
外部	I	0	0	0	1	1	1		p.	I		0	0	1	1	1	
仕上	п	0	1	1	2	2	3		台	ŁП	0	1	1	2	2	3	
推量	ш	1	1	2	3	4	5		-		1	1	2	3	4	5	
	IV	1	2	3	5	6	8		<b>天</b>		1	2	3	5	6	8	
<b>极</b> 10%	v	1	2	4	6	8	10		10	% V	1	2	4	6	8	10	
面積	_	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	床計	面和	責·本数 血	1070	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計 ※38%以上
11	無被害	0	0	0	0	0	0		1: 相		, 0	0	0	0	0	0	で全壌
床	I	0	0	0	1	1	1		- T	`  -		1	2	3	4	5	
梁	П	0	1	1	2	2	3	梁計 ※8%以上	は	<u> </u>		3	5	8	10	13	
	Ш	1	1	2	3	4	5	で全複	力 型			5	10	15	20	25	
	V	1	2	3	5	6 8	8		_	. IV		8	15 20	30	30 40	38 50	
10%		~10%	~20%	~40%	6 ~60%		10 ~100%	計	50 1		設備	10		カ 状況	40	損害割合	計
14	無被害	0	0	0	0	0	0	) BI		浴室	1%	·	2% スタブの割れ		3% 用が不可能	Kena	ш
建	I	0	0	0	0	0	1			お 台	1%		2%	きく破損・再位	3%		
具	п	0	0	1	1	1	1			196 ±0	fits						
	Ш	0	1	1	2	2	3		1		設備		損傷(	の状況		損害割合	計
	IV	0	1	2	2	3	4		設	備	高架水槽 ·受水槽		De las			XIII	
5%	v	1	1	2	3	4	5		(住	家 ,	外部階段						
									59	%	その他						
	損害	割合	5傾斜		小部仕上	10内部仕		1床・梁 大きい方	12: (又は耐		13設備) (住家内		4建具	15設備		計	
				·和	壁・屋根	天井	*	леил	(大は川	刀笙	/ (注象)	17		(住家外	あ		
	傾余	<b>开</b> 無															
	傾余	<b>抖有</b> 	20												V		
			(注) 損害害			値が2cm %未満		場合「あ」 0%以上			.上の場合 6以上		ま「い」の 以上		い値を 以上		とする。 以上

F4-04-0226	F4-	04 -	02(26)	
------------	-----	------	--------	--

準半壊

半壊

中規模半壊

大規模半壊

全壊

□ 準半壊に至らない (一部損壊)

判定

(27) 住家被害認定調査票(風害-非木造-2) 住家被害認定 調査票 ( ) 階平面図 調査票 番 号 風害 非木造−2 8

(28) 住家被害認定調査票(地盤被害-木造・プレハブ第1次)

住家被害認定 調査票 地盤被害によ る被害 木造・プレハブ 第1次 調査日 令和 年 月 日 1 調査時 : ~ : 調査員 所在地 世帯主 2 住 家□住家である(居住のために使用されている)	
□住家全部が倒壊 □住家の一部の階が全部倒壊 □一見して住家全部が流出又はずり落ち □基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥 □地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断	いずれかに □判定へ (全壊)
□床上1mまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み  □床までのすべての部分が地盤面下に潜り込み	損害割合 □判定へ (全壊) 損害割合 □判定へ (大規模半壊) 損害割合 □判定へ (大規模半壊) 日本 日本
□ 基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み	20%以上 (半壊)
6 傾斜 水平 距離 (cm)	損害割合 □判定へ 50%以上 (全壊)
7 の □2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)  1 □ 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)	損害割合 □判定へ (大規模半壊) 損害割合 □判定へ (大規模半壊) 20%以上 (半壊)

(備考)

【判定表】 (注)地盤面下への潜り込み、不同沈下双方みられる場合には、双方の損害割合のうち大きい値を損害割合とする。

	損害割合	20%以上30%未満	40%以上	50%以上	判定に至らない
判定		<b>ド</b> □	十担排斗棒	口	□ 水害等通常の
		半壊	大規模半壊	全壊	被害認定調査へ

#### (29) 住家被害認定調査票(地盤被害-木造・プレハブ第2次)



(30) 住家被害認定調查票(地盤被害-非木造第1次)

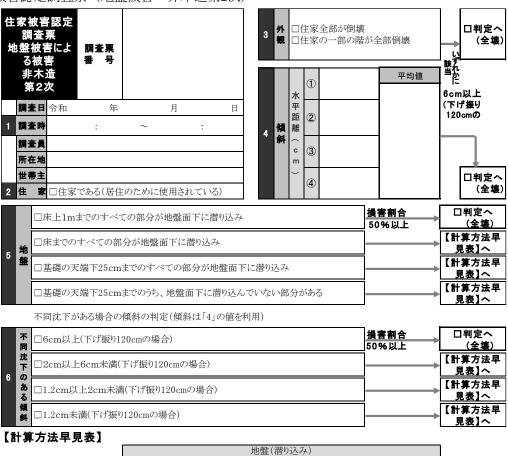
世 然被害による被害 第1次	_		- 1//		/nj \		クトノトスログ	11100					
調査日 令和 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		調也盤る非	査 被被木	票 <b>書</b> によ 書 造					配	■判定した住家	家の範囲が	分かるように記載	
調査時 : ~ :									。置				
調査時 : ~ : :		調査	日	令和	年		月	日	状				
所在地   世帯主   2 性 家 □住家である(居住のために使用されている)   接書   1	1	調査	·時		:	$\sim$	:		況				
世帯主         (全 東 □住家である(居住のために使用されている)         検書 □ 中定へでは変します。 「中でのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で		調査	 [										
世帯主         (全 東 □住家である(居住のために使用されている)         検書 □ 中定へでは変します。 「中でのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で		所才	F±th										
2 性 家 □住家である(居住のために使用されている)       (食壊)         4 別 □住家全部が倒壊 又は 住家の一部の階が全部倒壊       □ □ 中定へ (全壊)         5 地 □ □ 中上1mまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み       □ □ 中東土のすべての部分が地盤面下に潜り込み       □ 1 回判定へ (大規模半壊)         5													
1				口在安全	** フ / 戸 /}	・のたみには目	<b>コナム ナ</b> い7	· )					
日本	Z	世	水	山往豕	(あな) (店住	りだめに関わ	#311 CV V	0)					
世   世   世   世   世   世   世   世   世   世	4		口信	主家全部が	倒壊 又は	は 住家の一部	の階が全部	倒壊			該当	<del></del>	
□床上1mまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み  □床までのすべての部分が地盤面下に潜り込み  □ 株までのすべての部分が地盤面下に潜り込み  □ 基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み  □ 基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み  □ 本で		観											(主張)
地				t: 1. 1 t	マッチ ごっ	ての対グノスジゴド	処式でき	tion コフ、					□判定へ
□ 「中央でのすべての部分が地盤面下に潜り込み 「大規模半壊」 「大規模半壊」 「大規模半壊」 「日本でのすべての部分が地盤面下に潜り込み 「中央へ (半壊) 「日本でのすべての部分が地盤面下に潜り込み 「中央へ (半壊) 「日本でのすべての部分が地盤面下に潜り込み 「中央へ (半壊) 「日本でのがある場合の傾斜の判定 「中央でのが、本平のでは、「日本				木上Imま	(0) 9 7	この部分が地	温田下に催	り込み				50%以上	(全壊)
□ 「中央でのすべての部分が地盤面下に潜り込み 「大規模半壊」 「大規模半壊」 「大規模半壊」 「日本でのすべての部分が地盤面下に潜り込み 「中央へ (半壊) 「日本でのすべての部分が地盤面下に潜り込み 「中央へ (半壊) 「日本でのすべての部分が地盤面下に潜り込み 「中央へ (半壊) 「日本でのがある場合の傾斜の判定 「中央でのが、本平のでは、「日本		ii.										損害割合	
□基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み  不同沈下がある場合の傾斜の判定  「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」  「「「「「「	5			末までのす	べての部	分が地盤面	下に潜り込み	,				40%以上	
□基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み  不同沈下がある場合の傾斜の判定  「横													
不同沈下がある場合の傾斜の判定    1				基礎の天気	端下25cm	までのすべて	の部分が地	地盤面下	に潜り	込み			
6 傾 水平 原産 (cm)												30%未満	(十板)
6 傾 水平 原産 (cm)			不同	引沙下がね	んと思合の	傾斜の判定							
6 傾 水平 距離 (cm)  □6cm以上(下げ振り120cmの場合)  □2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)  □1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)  □1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)  □1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)  □1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)							3	)	(2	D	均值		
## (cm)	6		水	平				/			70 IE		
1/2 cm以上(下げ振り120cmの場合)   損害割合	Ĭ	斜											
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			(0)	1117			1	Į.					
7 の			<b>□</b> 6	Sem以上(	下げ振り1	20cmの場合)	)						
7 の												50%以上	(全環)
40%以上 (大規模半壊)				) DI I 2	2 土油/	てどだい100	の担入\						□判定へ
<b>損害割合</b> □1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合) <b>損害割合 20%以上</b> (半壊)	<i>'</i>		2	cm以上(	ocm木酒(	下りが区り120c 	川の場合)					40%以上 50%去港	
□ 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合) 20%以上 (半壊)													口刺中人
				.2cm以上	:2cm未満	5(下げ振り120	0cmの場合)	)					

(備考)

【判定表】 (注)地盤面下への潜り込み、不同沈下双方みられる場合には、双方の損害割合のうち大きい値を損害割合とする。

	損害割合	20%以上30%未満	40%以上	50%以上	判定に至らない
判定					
		半壊	大規模半壊	全壊	水害等通常の 被害認定調査へ

### (31) 住家被害認定調查票(地盤被害-非木造第2次)



			地盤(潜り込み)	
(下	げ振り120cmの場合)	床上まで	基礎の天端下25cmまで	基礎の天端下25cm未満
傾	2cm以上6cm未満	【損害割合算出表】①へ	【損害割合算出表】④へ	【損害割合算出表】⑦へ
斜	1.2cm以上2cm未満	【損害割合算出表】②へ	【損害割合算出表]⑤へ	【損害割合算出表】⑧へ
	1.2cm未満	【損害割合算出表]③へ	【損害割合算出表】⑥へ	通常の【損害割合算出表】へ

#### 【損害割合算出表】

判定

				1)	2	3	4	5	6	7	8
	1階	きの床面積(	<b>力</b> )								
	1棟の	延べ床面移	<b>i</b> (+)								
	1階の	カ/キ 階の床面積割合(ク)									
				ク×20	ク×20	ク×30			ク×10		
8		:上·雑壁・ 量根	10								
9	内部份	上・天井	10								
10	Ħ	F • 梁	10	不同沈下が	10		不同沈下がある場合	10		不同沈下がある場合	
11	柱(又(	は耐力壁)	50	ある場合 35 不同沈下が ない場合 25	算出した 損傷割合 に+10 (最大50) ※算出た損傷割合 が38%以上で全壊	算出した 損傷割合 に+10 (最大50) ※算出した損傷制合 が38%以上で全議	<b>35</b> 不同沈下が ない場合	(最大50)	算出した 損傷割合 に+10 (最大50) ※算出した損傷割合 が38%以上で全議	35 不同沈下がない場合	※38%以上で全壊
12	設備等	(住家内)	10								
13	3	建具	5								
14	設備等	(住家外)	5								
		Ħ									
		損害割	合	10%未	満 1	0%以上	20%以」	L 30%	以上 4	0%以上	50%以上

П

半壊

中規模半壊

大規模半壊

П

全壊

П

準半壊

□ 準半壊に至らない

(一部損壊)

### り 災 者 台 帳 俵 副

り災区	り災区分		番号									
b file	住	所		氏	i /	名	続柄	性別	年齢	職業	学校 (学年	摘要
(世帯主)	氏	名										
者	職	業										
災害の原因												
	り災年	三月日										
	り災	場所										
	住	宅										
ŋ	そ(	の他の家屋										
災状	家	財										
況	生	命		備								
	7	の他		考								

- (注) 1. 本台帳の大きさは、A4とする。
  - 2. り災者住所、職業、氏名欄の氏名は、世帯主名を記載する。
  - 3. 負傷者等については、それぞれの氏名欄の摘要に記載する。

### り 災 者 台 帳 裏 副

月	日	援	護	状	況	等

<sup>(</sup>注)援護状況等欄には、救助用支給物資の内訳はもちろん仮設住宅、医療救助等救助内容を記載し、できれば義援金品の内容も明記すること。

# 罹災証明書

	世帯主住所				
	世帯主氏名				
		氏	名	続柄	年齢
	世帯構成員				
	罹災の原因				
被災状況等	被災住家の 所在地				
 等 	住家の 被害の程度	□全壊□半壊	□大規模半壊 □準半壊	□中規模半壊 □準半壊に至ら	ない(一部損壊)
	浸水区分				
				していることをいう。) の応急修理等の対象とな	
住	三家以外の被害				

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

関市長

## り 災 証 明 書 裏 副

月日	援護状況等	認印
1. 救助用4	- 物資の受領に当たっては、本証明書の提示をしないと支給されません。	

(注) 「援護状況等」欄はできるだけ詳細に記載し、責任者が認印を押す。

2. 物資等を受領したときは「援護状況等」の記載を確認して下さい。

(2) り災証明書(旅行者用)

災害救助の手引 様式4-2

\ <b>-</b> /	/ / THI	4 / J	(/414	1 7 11 / 1	47				(   1/1/2 - 1/2	1 134- 42 -
第		号								
り	災者	爺 旅	行	証	明 書					
住				所						
職	業、	氏 名		年 齢					才	
家		族		数	大人	名	小人	名	計	名
乗	車	年	月	日		年	月	日		
乗	車		区	間		線	駅から		駅ま	で
そ		の		他						
	上記の者	首は、	災害に	こよる	り災者で旅	行(避難)する者	であることを証明す	<b>つ</b> る。		
			左	F	月	目				
						関市長			印	

- (注)1. 本証明書の大きさはA4とする。
  - 2. 発行に当たっては、り災者台帳にその旨記載、契印すること。

		様				
					第	号
		り災	証明書			
住河	所					
	氏 名	続柄	生年月日		被害	
世		世帯主	年 月	日		
帯						
0						
構						
成						
災*	害名	年 月 日	時 分			
被	害の状況	備考				
上記	己のとおり、相違ないこと	を証明する。				
		年 月	日			
			関市長		E	[]

様式4-3

(3) り災証明書(被災者支援システム)

 $\mp$ 

Ŧ	様	第	둥
	被災住家等証明書		
所有者住所			
所有者氏名			
物件所在地			
家屋番号			
建物用途			
災害名	年 月 日 時 分		
被害の状況	備考		
上記のとおり、相違ないことを	≥証明する。		
	年 月 日		
	関市長		印

様式4-4

(4) 被災住家等証明書(被災者支援システム)

# (5) り災証明書交付簿

## り 災 証 明 書 交 付 簿

年 月 日り災分

		T	I	1	年 月 日り災分
番号	住所	氏 名	提出先	枚数	摘  要

<sup>※ 「</sup>摘要」欄には、証明書の使用目的その他必要な特記事項を記入すること。

### F4-04-03 岐阜県災害救助法施行細則の規定による様式

(R5. 3. 31)

第1号様式(第2条関係)

第 号年 月 日

岐阜県知事 殿

市町村長印

災害状況報告書

次のとおり報告します。

年 月 日 時 分から

1 災害発生の日時

年 月 日 時 分まで

- 2 災害発生の場所
- 3 原因及び被害の模様
- 4 応急救助対策及びすでに採った措置
- 5 その他

# 第2号様式(第2条関係)

## 住家等一般被害状況等報告書

				住家等	一般被	害状	· 況報告		中	況 間 定		ī	<b>节町</b> :	村					
災害	の	種	類					災	į.	害	発	生	時	ŧ		年	月	日	時
災害:	発 生	上 場	所											•					
報告	の	時	限		月	日	時現在	受	Ž	信		時	刻		月	日	時	分	
発 信	<u> </u>	機	関					受	Ź	信		機	関	l					
発	信		者					受	Ž		信		者	<u>.</u>					
			死者		ア		行方不明		1					負	傷			-	
人的被	害		70 11		,		1171 1 91				重	傷		ウ		軽	易		エ
					人				人	<u> </u>				人					人
	区 分					棟数①						世帯数	<b>文</b> ②				人員	3	
住	全	壊	( 鬼	尭 )	オ		(	)	棟				i	世帯					人
	流			失	カ		(	)											
家	半	壊	( 鬼		+		(	)											
o o	床	上	浸		ク		(	)											
	床	下	浸	水	ケ		(	)											
被	小			計	⊐		(	)											
	_	部	破	損	サ		(	)											
害	合			計	シ		(	)											
非住家の被害		軍、土倉 軍、納居			ス														
の被害		公署庁? 交、病院			セ														

					避	難の指表	示、勧告	の状況						
人員等	種別	知	事	市町村長		水防管理者		警	察官 自行		自衛官		<del>'</del> †	摘要
月日時		地区数	人員	地区数	人員	地区数	人員	地区数	人員	地区数	人員	地区数	人員	
月日時	分		人		人		人		人		人		人	
月日時	<b>分</b>													
月日時	分													
月日時	<b>分</b>													
計														
	市町村	村名	全壊(炸	尭)	流失	<b>流失</b> 半塌		床上浸	水	床下浸水	;	一部破損	非住	家
主な			棟		棟	棟		棟		棟		棟	棟	
被害地区		世帯 世帯		世神	<b>#</b>	世帯	·	世帯		世帯				
(市町村)			棟		棟	棟		棟		棟		棟	棟	
	世帯 世帯 世帯		#	世帯		世帯		世帯						

備考 ( )内には、公営住宅の被害棟数を内書として記入すること。

# 第3号様式(第4条関係)

(その1) 保管 第 号	] 公 公 9条の規定により、	用	会のである。	書	I .	人その他の	
	月日	)(U) = 00 ) (M)		<b>3</b> 0			
·				岐阜県知事	氏名		F
	物資	保管場所	—————————————————————————————————————	保管期間		7	
種類	数量	PN LI SII		NATIONAL PROPERTY OF THE PROPE			
						_	
ができます。 2 この処分に不服があ (訴訟において岐阜県	るときは、上記1の審査詞 見を代表する者は岐阜県知	求のほか、この処分の返  事となります。)、この処	<b>風知を受けた日の</b> №分の取消しの訴	以内に、内閣総理大臣に 翌日から起算して6か月り えを提訴することができ 処分の取消しの訴えを提	人内に、岐阜県 ます(なお、処	を被告と 凸分の通知	: して 知を
	21の審査請求をした場合  ければならないこととさぇ		訴えは、審査請え	求に対する採決の送達を受	けた日の翌日	から起算	[して
	·················· 切···			······線······			
					年	月	日
岐阜県知事殿							
					住所		
					氏名		

受 領 書

(法人その他の団体に ついては、その名称)

公用令書( 年 月 日付保管第 号)を受領しました。

(その2)						
収	唦	第	号			

公 用 令 書

住所 氏名

> (法人その他の団体に ついては、その名称)

災害救助法第9条の規定により、次のとおり物資を収用する。

年 月 日

			岐阜県知事	氏名	F
	収用物資		引渡時期		
種類	数量	所在場所	り設時期		

(教示)

- 1 この処分に不服があるときには、この処分の通知を受けた日の翌日から起算して3か月以内に、内閣総理大臣に対して審査請求をすることができます。
- 2 この処分に不服があるときは、上記1の審査請求のほか、この処分の通知を受けた日の翌日から起算して6か月以内に、岐阜県を被告として (訴訟において岐阜県を代表する者は岐阜県知事となります。)、この処分の取消しの訴えを提訴することができます(なお、処分の通知を 受けた日の翌日から起算して6か月以内であつても、この処分の日から1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなり ます。)。ただし、上記1の審査請求をした場合には、この処分の取消の訴えは、審査請求に対する採決の送達を受けた日の翌日から起算して 6か月以内に提起しなければならないこととされています。

年 月 日

岐阜県知事殿

住所 氏名

> (法人その他の団体に ついては、その名称)

受 領 書

公用令書( 年 月 日付収用第 号)を受領しました。

(その3) 管 理 第 号

公 用 令 書

住所 氏名

> (法人その他の団体に ついては、その名称)

災害救助法第9条の規定により、次のとおり施設を管理する。

年 月 日

岐阜県知事 氏名

(EI)

	管理施設		管理範囲	管理期間	
名称	種類	所在場所	官连軋团		
				·	

(教示)

- 1 この処分に不服があるときには、この処分の通知を受けた日の翌日から起算して3か月以内に、内閣総理大臣に対して審査請求をすることができます。
- 2 この処分に不服があるときは、上記1の審査請求のほか、この処分の通知を受けた日の翌日から起算して6か月以内に、岐阜県を被告として (訴訟において岐阜県を代表する者は岐阜県知事となります。)、この処分の取消しの訴えを提訴することができます(なお、処分の通知を 受けた日の翌日から起算して6か月以内であつても、この処分の日から1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなり ます。)。ただし、上記1の審査請求をした場合には、この処分の取消の訴えは、審査請求に対する採決の送達を受けた日の翌日から起算して 6か月以内に提起しなければならないこととされています。

年 月 日

岐阜県知事殿

住所

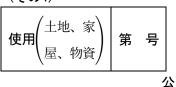
氏名

(法人その他の団体に ついては、その名称)

受 領 書

公用令書(年月日付管理第号)を受領しました。

(その4)



用 令 書

住所 氏名

> (法人その他の団体に) ついては、その名称)

災害救助法第9条の規定により、次のとおり土地、家屋及び物資を使用する。

年 月 日

岐阜県知事 氏名

(EJ)

区分	種類	数量	所在	場所	使用範囲	試用期間	引渡時期
土地							
家屋							
物資							

(教示)

- 1 この処分に不服があるときには、この処分の通知を受けた日の翌日から起算して3か月以内に、内閣総理大臣に対して審査請求をすることができます。
- 2 この処分に不服があるときは、上記1の審査請求のほか、この処分の通知を受けた日の翌日から起算して6か月以内に、岐阜県を被告として (訴訟において岐阜県を代表する者は岐阜県知事となります。)、この処分の取消しの訴えを提訴することができます(なお、処分の通知を 受けた日の翌日から起算して6か月以内であつても、この処分の日から1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなり ます。)。ただし、上記1の審査請求をした場合には、この処分の取消の訴えは、審査請求に対する採決の送達を受けた日の翌日から起算して 6か月以内に提起しなければならないこととされています。

年 月 日

岐阜県知事殿

住所

氏名

(法人その他の団体に) ついては、その名称

受 領 書

公用令書 ( 年 月 日付使用 (土地、家 屋、物資) 第 号) を受領しました。

#### 第4号様式(第4条関係)

公用変更令書	第号
発付番号	.,
公用令書発付	第号
番号年月日	年 月 日

公 用 変 更 令 書

住所

氏名

(法人その他の団体に ついては、その名称)

災害救助法第9条の規定による 年 月 日付第 号の公用令書を、次のとおり変更したので、同法施行規則第1条第4項の規定により、これを交付する。

年 月 日

岐阜県知事 氏名

(EI)

保管	物資	保管場所	保管期間	
種類	数量	休官场別		

(この表は、物資の保管の場合のものであつて、物資の収用、施設の管理、土地家屋等の使用の場合のものはそれぞれの公用 令書の表の例による。)

(教示)

- 1 この処分に不服があるときには、この処分の通知を受けた日の翌日から起算して3か月以内に、内閣総理大臣に対して審査請求をすることができます。
- 2 この処分に不服があるときは、上記1の審査請求のほか、この処分の通知を受けた日の翌日から起算して6か月以内に、岐阜県を被告として (訴訟において岐阜県を代表する者は岐阜県知事となります。)、この処分の取消しの訴えを提訴することができます(なお、処分の通知を 受けた日の翌日から起算して6か月以内であつても、この処分の日から1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなり ます。)。ただし、上記1の審査請求をした場合には、この処分の取消の訴えは、審査請求に対する採決の送達を受けた日の翌日から起算して 6か月以内に提起しなければならないこととされています。

年 月 日

岐阜県知事殿

住所

氏名

(法人その他の団体について) は、その名称及び代表者氏名)

受 領 書

公用変更令書( 年 月 日付第 号)を受領しました。

### 5号様式(第4条関係)

公用取消令書 発付番号	第号
公用令書発付	第号
番号年月日	年 月 日

公 用 取 消 令 書

住所

氏名

(法人その他の団体に ついては、その名称)

年 月 日付第 号の公用令書にかかる保管(収用・管理使用)は、その必要がなくなったのでこれを取り消す。

年 月 日

年 月 日

岐阜県知事殿

住所

氏名

(法人その他の団体について は、その名称及び代表者氏名)

受 領 書

公用取消令書( 年 月 日付第 号)を受領しました。

# 6号様式(第4条関係)

公用取消令書 発付番号	第号
公用令書発付	第号
番号年月日	年 月 日

> 住所 氏名

(法人その他の団体に ついては、その名称)

	Г	Г	Г	,		ı		
区分	種類	数量	所在の 場所	名称	範囲	期間	引渡時期	備考(変更理由) (その他)
公用令 書の 内容								
変更事 項及び その理 由								
取消理由								
	種類	請求客	Ą	請求者	補償額		補償年月日	備考
損失補 償欄								

### 第7号様式(第5条関係)

年 月 日

引渡しを受けた職員 岐 阜 県 職 員

氏名

立会人

物資所有者(占有者)

氏名

領調

災害救助法第9条の規定により収用(使用)する物資を次のとおり受領した。

1 受領者 岐阜県知事

受

- 2 受領物資の種類及び数量
- 3 受領年月日
- 4 受領場所
- 5 その他必要と認める事項

第8号様式(第6条関係)

年 月 日

岐阜県知事殿

住所

損 失 補 償 請 求 書

請求額金

円

ただし 年 月 日付第 号の公用令書にかかるもの(損失補償額算出明細書及び受領調書写別紙のとおり)

上記金額を次の理由により請求します。

請 求 理 由

第9号様式(第7条関係) 様式(第7条関係)

公用変更令書祭付番号	第	号

公 用 令 書

住所

職業

氏名

(法人その他の団体について) はその名称及び代表者氏名)

災害救助法第7条の規定により、次のとおり救助業務に従事することを命じる。

従	事す	「ベ	き	救	助業	務				
従	事	す	べ	き	場	所				
従	事	す	ベ	き	期	間	年 年	月月	日から 日まで	日間
出	出頭すべき日時及び場所									

(法人その他の団体については従事すべき業務の計画その他必要と認める事項を記載すること。)

年 月 日

岐阜県知事 氏名 即

年 月 日 時 分

岐阜県知事殿

住所

氏名

(法人その他の団体について) は、その名称及び代表者氏名)

受 領 書

公用変更令書(年月日付第号)を受領しました。

#### (表面)

### 令書の交付を受けた者の心得

- 1 この令書の交付を受けた者は、この令書を携行して指定の日時及び場所に出頭すること。
- 2 この令書の交付を受けた者は、傷病疾病等により指定の日時に出頭し難い場合には 医師診断書(やむを得ない事情により医師の診断書を得られないときは、警察官の証 明書)を添え知事に遅滞なく届け出ること。
- 3 この令書の交付を受けた者は、天災その他避けることのできない事故により指定の 日時及び場所に出頭できない場合には、その市町村長、警察官その他適当な公務員の 証明書を添え知事に遅滞なく届け出ること。
- 4 この令書の交付を受けた者で旅費の前払を受けなければ出頭することができない者 は、居住地の市町村長にこの令書を提示し立替払を請求することができる。
- 5 この令書の交付を受けた者が命令に従わないときは、災害救助法第32条の規定により 6 か月以下の懲役又は300,000円以下の罰金に処せられる。

#### (教示)

- 1 この処分に不服があるときは、この処分の通知を受けた日の翌日から起算して3か月以内に、内閣総理大臣に対して審査請求をすることができます。
- 2 この処分に不服があるときは、上記1の審査請求のほか、この処分の通知を受けた 日の翌日から起算して6か月以内に、岐阜県を被告として(訴訟において岐阜県を代 表する者は岐阜県知事となります。)、この処分の取消しの訴えを提起することができ ます(なお、処分の通知を受けた日の翌日から起算して6か月以内であつても、この 処分の日から1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなりま す。)。ただし、上記1の審査請求をした場合には、この処分の取消しの訴えは、審査 請求に対する裁決の送達を受けた日の翌日から起算して6か月以内に提起しなければ ならないこととされています。

### 第10号様式(第7条関係)

公用取消令書 発付番号	第号
公用令書発付番号年日日	第号 年月日
番号年月日	年

公 用 取 消 令 書

住所

氏名

(法人その他の団体について) はその名称及び事業の種類)

(EJ)

年 月 日付第 号の公用令書にかかる従事命令は、その必要がなくなったのでこれを取り消す。

年 月 日

岐阜県知事 氏名 ………線……切……取……取

年 月 日 岐阜県知事殿

住所

氏名

(法人その他の団体について) はその名称及び代表者氏名)

受 領 書

公用取消令書( 年 月 日付第 号)を受領しました。

### 第11号様式(第7条関係)

公用取消令書 発付番号	第号
公用令書発付 年 月 日	年 月 日

救 助 従 事 者 台 帳

住所 職業

氏名

年 月 日生 従事すべき救助業務 従事すべき場所 従事すべき期間 出頭すべき日時 出頭すべき場所 公用令書 取消理由 負傷、疾病又は死亡 の日時 負傷、疾病又は死亡 の原因 傷病名、傷病の種類及 び身体の状況 備 考

負傷、疾病又は死亡	氏名	本人との続柄	生年月日	職業	備考
した者の主な親族の					
<b>状況</b>					

	扶助金の種類		
扶 助 金 支 給 欄			

年 月 日

岐阜県知事殿

住所激素

Š

(法人その他の団体について) はその名称及び代表者氏名)

実 費 弁 償 請 求 書

1 請求額 金 円

ただし、 年 月 日付第 号の公用令書にかかるもの(明細書別紙のとおめ)

上記金額を次の理由により請求します。

- 1 従事した業務
- 2 従事した期間
- 3 従事した場所

#### 第13号様式(第10条関係)

N. 1 (表)

立 入 檢 茲 証

%2 (表)

災害救助法第10条の条文を挿入すること。

No. 1 (1%)

第一号

所屬長

徽 名 氏 名

災害教助法第10条の規定による立 入検査をするものであることを証 する。

等 月 日

 M. 2 (M)

#### H.M.

- 1 この証票は、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。
- 2 この証据は、 年 月 日まで有効とする。
- 3 この証明は、有効期間が経 過し、又は不要になったとき は、速やかに返還しなければ ならない。

年 月 日

岐阜県加事殿

住所

1

名创

版 水 淡 水 彩 高 高 高

災害教助法による

扶助金支給申請書

养祭 打切

災害救助法第12条の規定により扶助金を支給されたく別添書類を添えて申請します。

有傷、疾病 た者の住所	ZITECU ZUKK	in summer entere entere entere entere en	والمرابعة المواقعة المرابعة المواقعة المواقعة المرابعة والمرابعة والمنافعة والمنطقة والمنطقة المنافعة المنافعة	e a l'imperio e les describitors d'imperioritàmico de l'imperioritàmico de l'imperioritàmico de l'imperioritàm	enterente de la compania de la compania de la compania de la compania de la compania de la compania de la comp	over to the week and	tt yar giraya yakumu da yimiyi miganga y
負傷、疾病 の日時及	有又は死亡 2場所						
食傷、疾り の ()	nyaze a M				nganagana anggana anggana ng gana ng nganggang	HZZPIJAJA Z 4° ABOTO BILKTYN	enkryann e indanska myssikska syst
像指令。《 及び身体》	場所の程度 り状況	2 (2) (3 - 1 (4 - 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
公用介格。 用及 (	DKITEH L	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	985-5200 7.88671078 578 <sub>87</sub> 5554566 10750, 380135 180144 18015 18014 18014 18015 18014	gy, nakawinansa, nampaninsusia na napo si kusima.	ngga repubationas sistematica para empleador de constitución de constitución de constitución de constitución de	ng tinan an an church an air.	enteres de la companya de la companya de la companya de la companya de la companya de la companya de la company
负傷、疾 痛又は死		A.	本人との統領	生年月日	職業	198	**
たした者	elicia internativa						
の主なる	E CONTROL CONT	ደ 4 ነጻ ዓ.ዴ ዕስያ የምም ለመደመም ለም 2 የመረመንስ ም ምሚያውር ነፃ ነፃ ነፃ ነፃ ነፃ ነፃ ነፃ ነፃ ነፃ ነፃ ነፃ ነፃ ነፃ					መቀመር አለስ የሚያውድም ያ ምስመጀር « የጀነ የጀክርስታዊ
2	And Control of the Co			Karakaran Amerikanan	Edition of the state of the sta		

#### 第15号様式(第12条関係)

第 号

市(町村)長 竣

校早从知事 即

災害教助法による教助に関する事務の一部 を市町村長が行うこととすることについて

年 月 日に発生した 災害において災害救助法による救助を実施するに出たり、災害救助法第13条第1項の規定により、下記1の救助に関する事務については、下記2の期間において貴職が行うこととしたので通知する。

- 1 事務の内容
- 2 期間

第16号様式(第13条関係)

 第
 号

 年
 月

 日

阀车性具息劲

市町村長

精 第 書

ただし、による災害救助実施に要した費用の繰替金

添付書類 {1 枚助の実施に要した費用の算出内訳書 2 枚助実施状況書

上記のとおり請求します。

### 災害救助費算出內訳書

種 目別 区分				市町村幾替支弁額			算定基準による事定額		
	111 P	<i>т</i> Б.	,	員族	単価	金額	曼徽	単価	金包
肋囊形	めた 撃した	経費			H.	Ħ			
教助:	₽-					ſ			
		遊離所		施人			处政		
COL	遊 <b>城</b> 所 設置費	福祉建筑	配所	延人			处人		
(1)		ホテルゼ	除館など	9年人			延人		
			H-	延人			延人		
	<b>応療仮数</b>	建設型応急往宅		戸			戸		
(z)		賃貸型応急往宅		戸			戸		
			H-	戸			戸		
(3)	炊き出しそ	の世によ	3歳品の指与書	956人			延人		
(4)	飲料水の	及		处人			延人		
		全機(機)	減田	世帯			世帯		
(5)	その担生 活必得品 治(権) 年 責	半機(機)	・床上浸水	世帯			世帯		
	¥		<del>II</del>	世帯			世帯		
				延人			延人		
(6)	医療及び  助選費	胁瀊		56人			延人		
		#		延人			延人		
(7)	被災者の	世界 ・		٨			٨		
(8)	被災した住宅の応急修理費		世帯			世帯			
(9)	生業に必			世帯			世帯		
		小学校	<b>総科書</b>	٨.			人		
		児童	女房具等	人			٨		
	学用品の給与費	中学校	教科書	٨			٨		
(10)	売   の   ※	生徒	女房具等	۸.			٨		
	事 <b>要</b>	高等学 校等生	<b>教科書</b>	시			٨		
		徒	文房具等	٨			٨		
		BF-		시			٨		
	埋	大	Α	#			律		
αĐ		<u></u>	٨	俳			鎌		
			<del>II</del>	#			雄		
(IZ)	死体の機	<b>索賽</b>		俳			#		
		洗净、彩	给、消毒等	#			雄		
([3)	<b>藤</b>	一 <del>時度</del> 李		俳			維		
1107	死体の処理費	検薬		俳			維		
	*	<del>万</del>		#			#		
(14)	障害物の	除虫費		世帯			世帯		
(15)	輸後	<b>₽</b>							
(1e)	資金聯長	等層上與	<b>?</b>						
涉業!	19条の構	X.							
助事者	めた 要した	 隆 <del>費</del>							

<sup>【</sup>合 所》 備考 1 「灰を出しその他による象景の浴与費」の項目養養」の構は、鉱浴食養を3で除して得た後を記入すること 2 「医療及び助産」の項は、日赤教養度を除いた教養度にかかる経費を記入すること。 3 「富定基準による第定額」の構は、数別の健自別区分ごとに第4条の規定により別表第1に規定する教助基準額と市町村線様支余額とを比較して少ない方の額を記入すること。